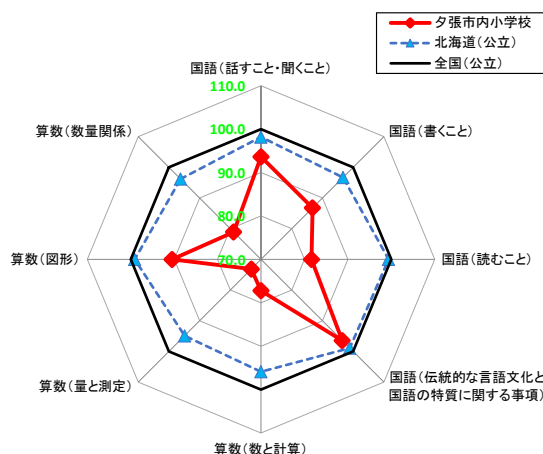


■夕張市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:31人)

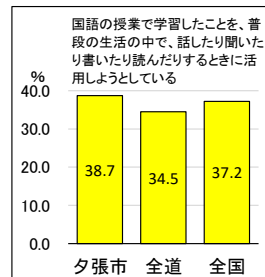
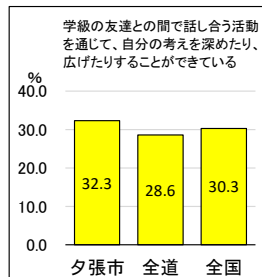
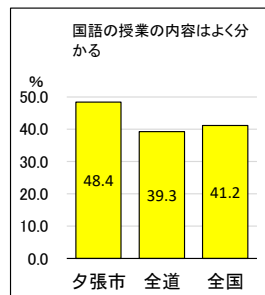
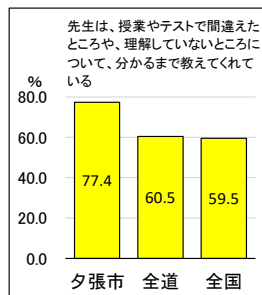
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

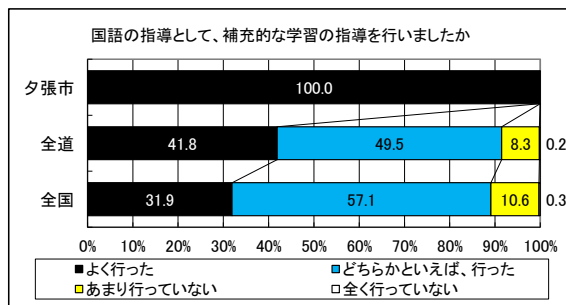
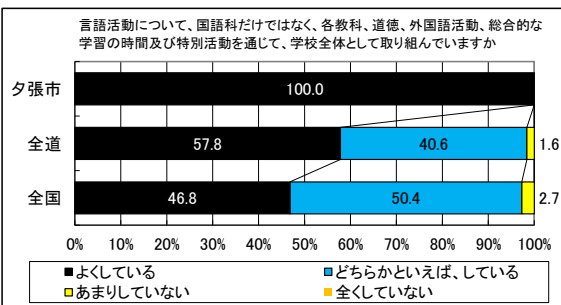
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導において、補充的な学習の指導を行った結果、国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ結果、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ。 ○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。	

【夕張市の学力向上策】

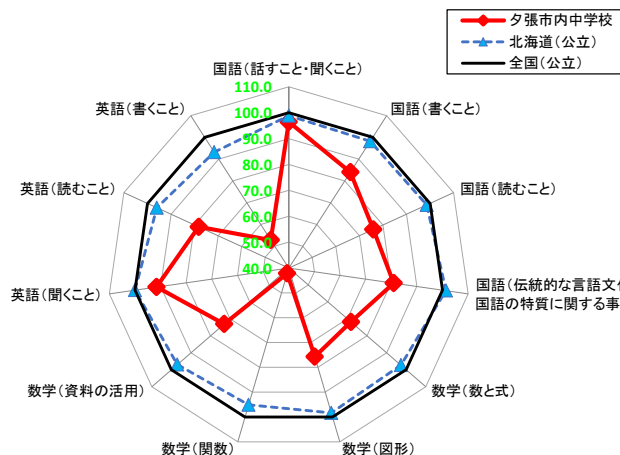
◎ 教職員の資質・能力の向上に向けた研修会の開催 ◎ 基礎学力向上を目指した放課後学習支援事業(サポートスタディ)の実施 ◎ 学校運営協議会(CS)による学校支援体制の強化、家庭学習の取組の推進 ◎ 幼・小・中・高・高等養護学校の連携による充実した教育の推進 ◎ 通信環境の整備及びタブレットの導入によるICTを活用した教育の充実 ◎ 社会科副読本のデジタル化による地域学習の促進 ◎ 小中高一貫のマンツーマンオンライン英会話システムの導入によるグローバル人材の育成と特色ある英語教育の推進 ◎ 読み聞かせ活動、巡回文庫、図書まわりの開催等、読書活動の推進 ◎ 特別支援教育支援員の活用による一人一人の教育ニーズに応じた指導や支援を図るための教育環境の整備 ◎ Q-Uを活用したよりよい学級づくりと学ぶ意欲の向上	
---	--

■ 夕張市内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、生徒数: 31人)

【教科全体の状況】

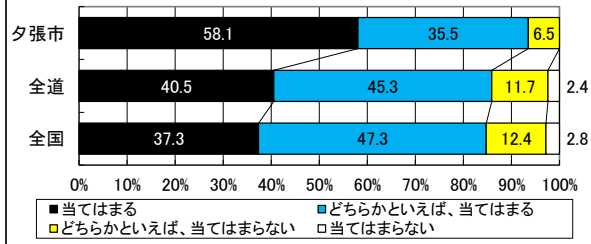
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

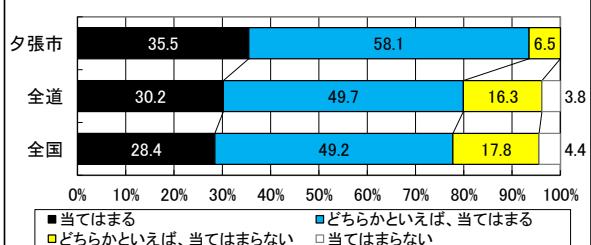


【生徒質問紙調査】

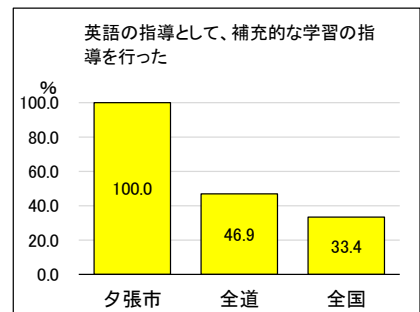
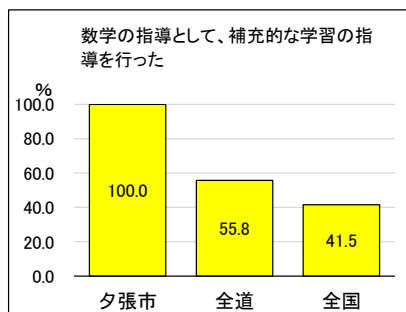
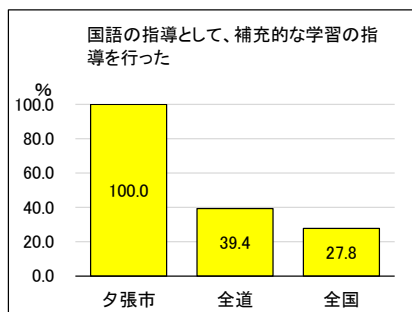
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



国語の授業内容はよく分かる



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 数学及び英語の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、きめ細かな指導の充実が図られ、国語の授業内容はよく分かると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 英語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。	

【夕張市の学力向上策】

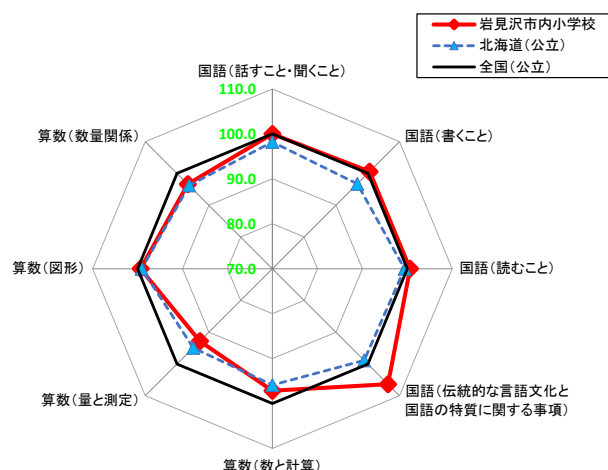
- ◎ 教職員の資質・能力の向上に向けた研修会の開催
- ◎ 学校運営協議会(CS)による学校支援体制の強化、家庭学習の取組の推進
- ◎ 幼・小・中・高・高等養護学校の連携による充実した教育の推進
- ◎ 通信環境の整備及びタブレットの導入によるICTを活用した教育の充実
- ◎ 小中高一貫のマンツーマンオンライン英会話システムの導入によるグローバル人材の育成と特色ある英語教育の推進
- ◎ 英語検定、漢字検定、受験料助成による学習意欲及び基礎学力の向上
- ◎ 特別支援教育支援員の活用による一人一人の教育ニーズに応じた指導や支援を図るための教育環境の整備
- ◎ Q-Uを活用したよりよい学級づくりと学が意欲の向上

■岩見沢市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:14校、児童数:607人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

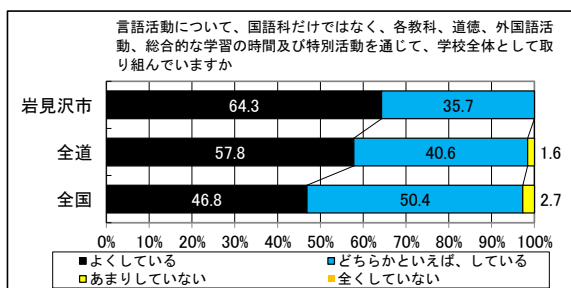
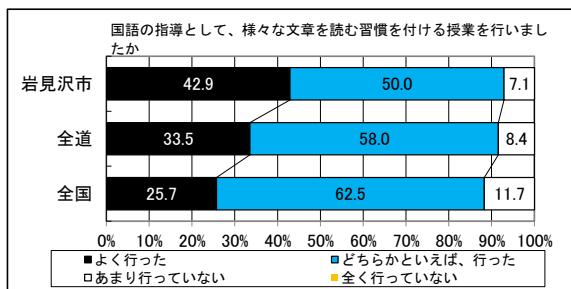
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



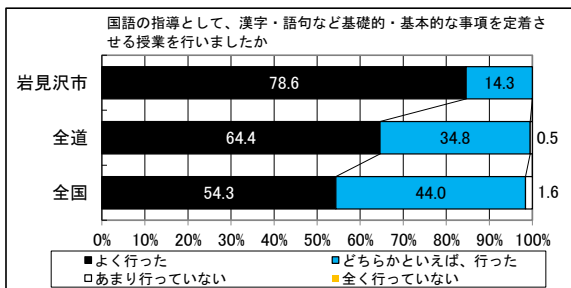
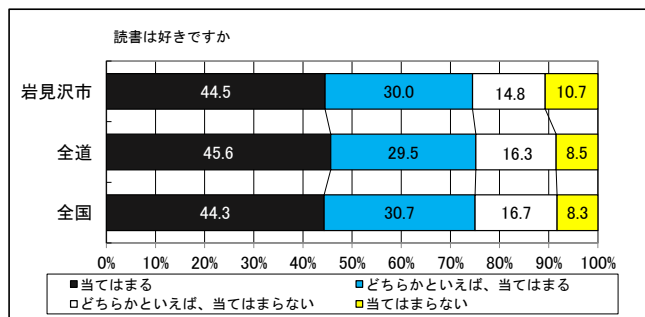
＜平均正答率＞

国語	算数
65	65

【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った結果、「読書は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回られる。
児童質問紙	○ 「読書は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだり、国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った結果、国語の「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【岩見沢市の学力向上策】

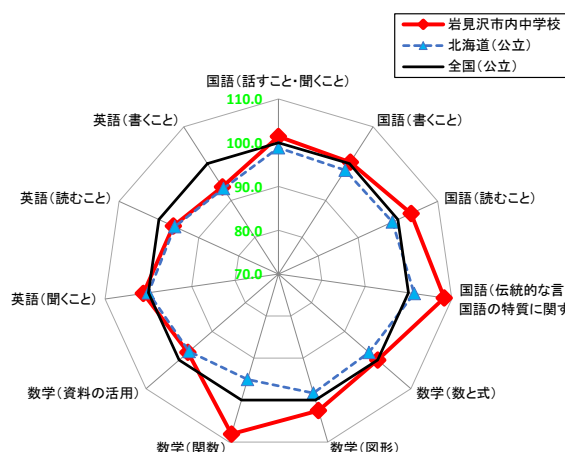
- ◎ 全ての小・中学校における「教えて考えさせる」授業の導入
- ◎ 学校が企画する学力向上策等を支援する「子どもがかがやく学校活動支援事業」の実施
- ◎ 大学の教員による出前授業や協力授業など、北海道教育大学と連携した教育活動の推進
- ◎ 教職員の実践的指導力の向上を図る教育研究所等と連携した各種研修の実施
- ◎ 学校が自主的に行う公開研究会を支援する「授業づくりのまち岩見沢」の実施
- ◎ 学びの連続性を踏まえた中学校区別学力向上小中連携研修の開催
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果の市民への数値での公表、市内全教員への岩見沢市の調査結果概要版の配付
- ◎ 授業スタイル、学習習慣、教室環境等の統一を図り、組織的な学校運営を進める学校力向上の取組の全校での実施
- ◎ 放課後及び長期休業期間等における補完的な学習サポートの実施
- ◎ 教育研究所の部会研究と研究指定校を連動させた授業改善を図る実践研究の実施

■岩見沢市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、生徒数:601人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

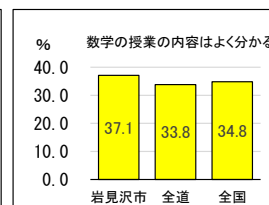
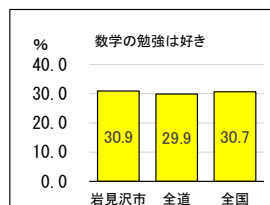
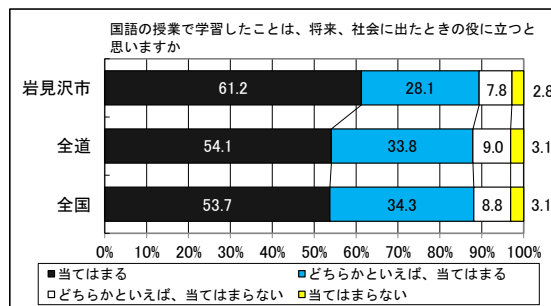
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



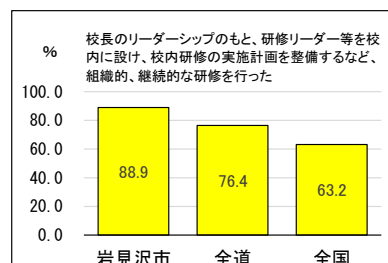
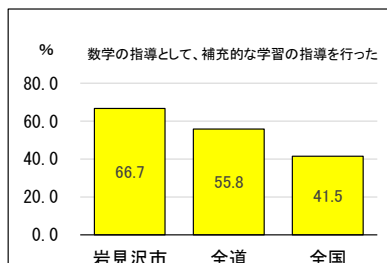
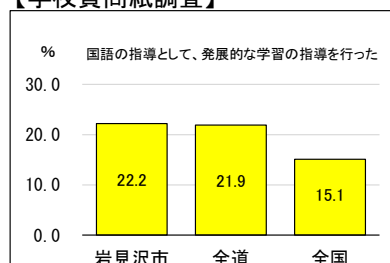
＜平均正答率＞

国語	数学	英語
75	60	55

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学では、「図形」「関数」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、発展的な学習の指導を行った結果、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときの役に立つと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときの役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った結果、授業改善が進み、国語の全ての領域、数学の「図形」「関数」、英語の「聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。

【岩見沢市の学力向上策】

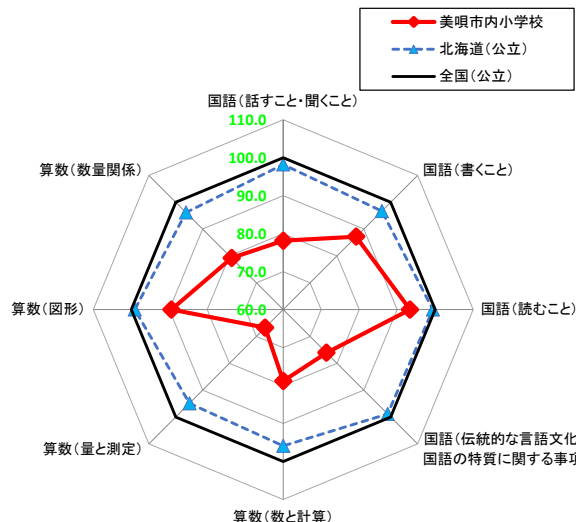
- ◎ 全ての小・中学校における「教えて考えさせる」授業の導入
- ◎ 学校が企画する学力向上策等を支援する「子どもがかがやく学校活動支援事業」の実施
- ◎ 大学の教員による出前授業や協力授業など、北海道教育大学と連携した教育活動の推進
- ◎ 教職員の実践的指導力の向上を図る教育研究所等と連携した各種研修の実施
- ◎ 学校が自主的に行う公開研究会を支援する「授業づくりのまち岩見沢」の実施
- ◎ 学びの連続性を踏まえた中学校区別学力向上小中連携研修の開催
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果の市民への数値での公表、市内全教員への岩見沢市の調査結果概要版の配付
- ◎ 授業スタイル、学習習慣、教室環境等の統一を図り、組織的な学校運営を進める学校力向上の取組の全校での実施
- ◎ 放課後及び長期休業期間等における補充的な学習サポートの実施
- ◎ 教育研究所の部会研究と研究指定校を連動させた授業改善を図る実践研究の実施

■美唄市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:118人)

【教科全体の状況】

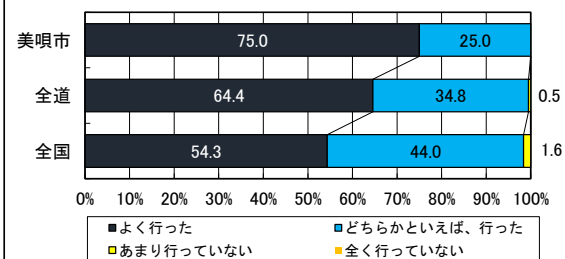
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

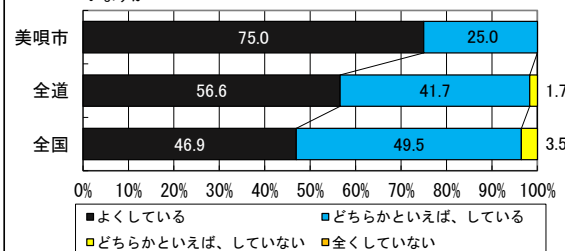


【学校質問紙調査】

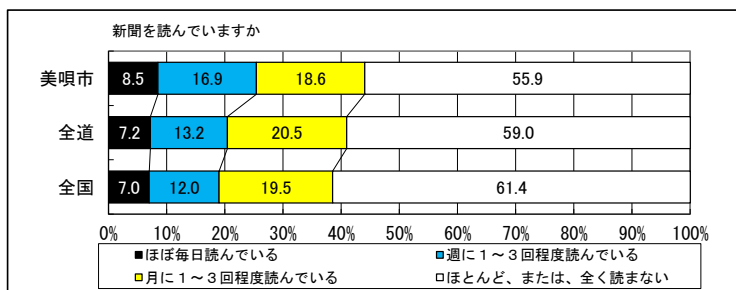
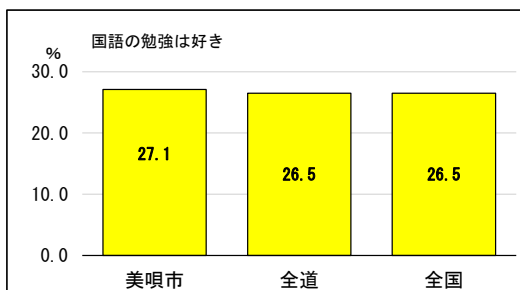
国語の指導として、漢字や語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか



指導計画の作成に当たっては、教育活動に必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、漢字や語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったりした結果、国語の勉強が好きと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「新聞をほぼ毎日読んでいる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 教職員対象の「美唄市教職員サマーセミナー」を実施した結果、指導計画の作成に当たっては、教育活動に必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている学校の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、漢字や語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「指導計画の作成に当たっては、教育活動に必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【美唄市の学力向上策】

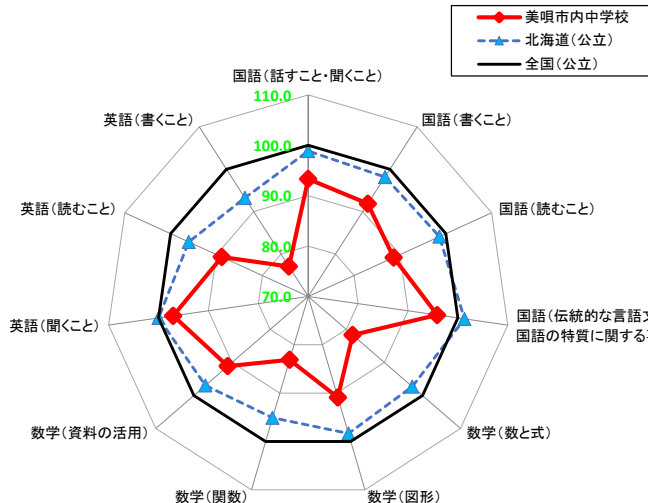
- ◎ 学力向上の重点的な取組を示した「確かな学力育成プラン」の作成
- ◎ 習熟度別学習による指導方法の工夫改善の推進
- ◎ ICTの効果的な活用による指導方法の工夫改善の推進
- ◎ 学力向上に向けた複式学級のある学校への学習支援員の配置
- ◎ 教育支援ボランティア等による補足的な学習の推進
- ◎ 学校の校内研修の充実を図る公開研究指定校に対する研究助成の実施
- ◎ 美唄の歴史や産業などを学び、授業等の活用を目指した教職員対象の「美唄市教職員サマーセミナー」の実施

■美唄市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:114人)

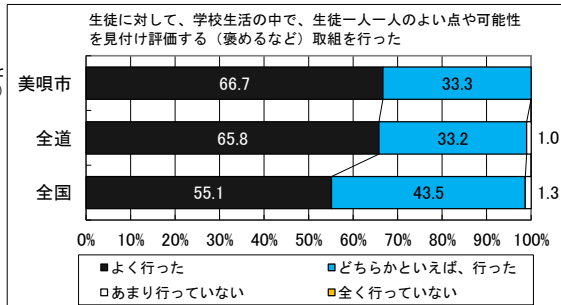
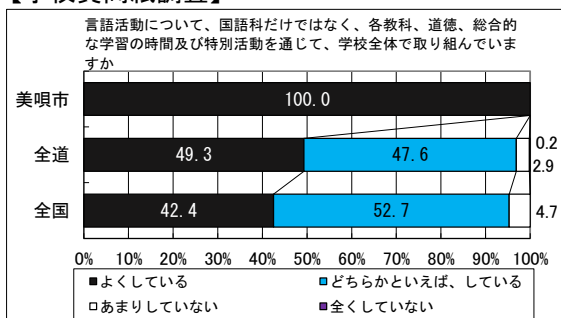
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

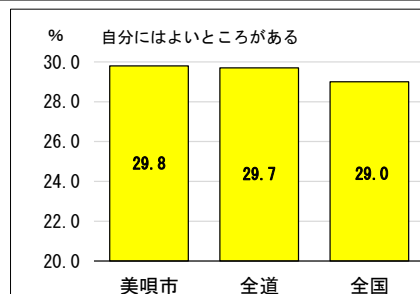
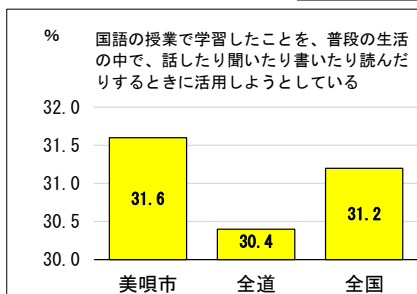
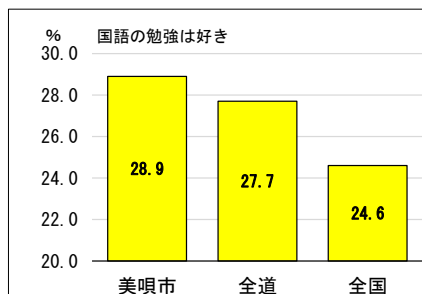
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んだ結果、国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていると回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 生徒に対して、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った結果、自己肯定感が高まり、自分にはよいところがあると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んだ」と回答している。 ○ 「生徒に対して、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付ける評価する(褒めるなど)取組を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

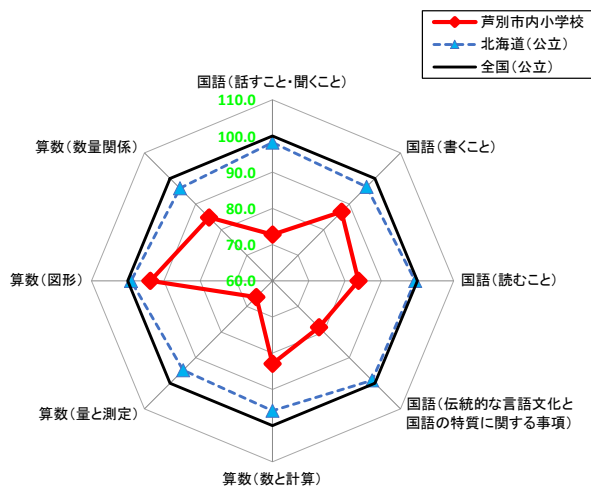
【美唄市の学力向上策】

- ◎ 学力向上の重点的な取組を示した「確かな学力育成プラン」の作成
- ◎ 習熟度別学習による指導方法の工夫改善の推進
- ◎ ICTの効果的な活用による指導方法の工夫改善の推進
- ◎ 学力向上に向けた複式学級のある学校への学習支援員の配置
- ◎ 教育支援ボランティア等による補完的な学習の推進
- ◎ 学校の校内研修の充実を図る公開研究指定校に対する研究助成の実施
- ◎ 美唄の歴史や産業などを学び、授業等の活用を目指した教職員対象の「美唄市教職員サマーセミナー」の実施

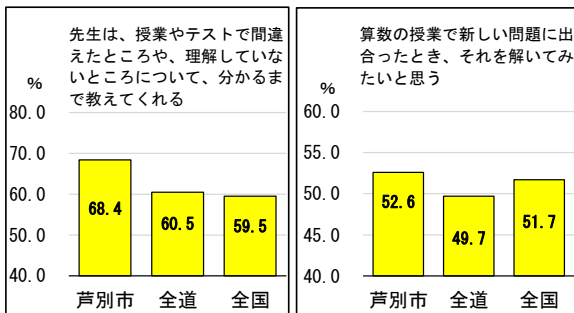
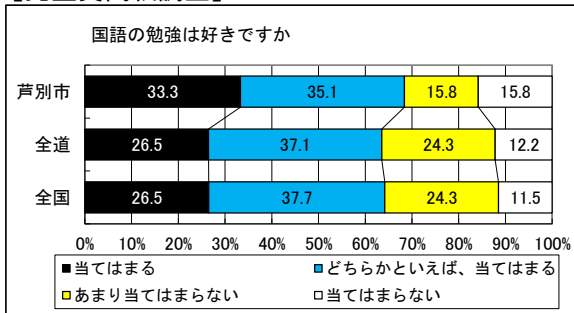
■ 芦別市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:57人)

【教科全体の状況】

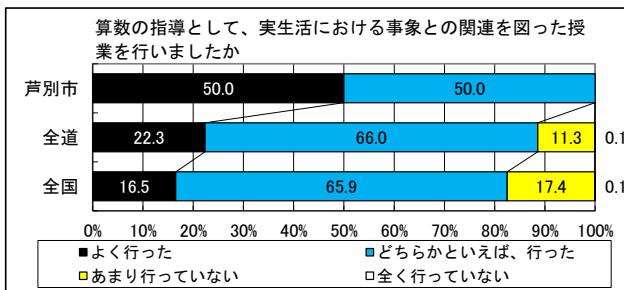
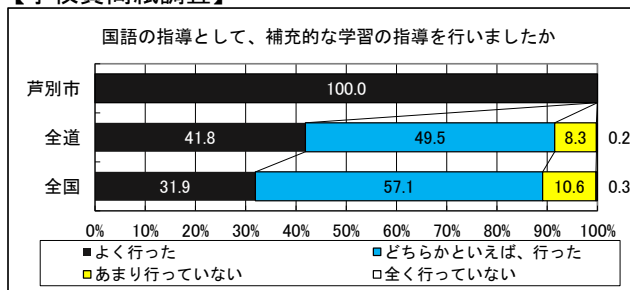
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれ、国語の勉強が好きと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った結果、算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「国語の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している。 ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【芦別市の学力向上策】

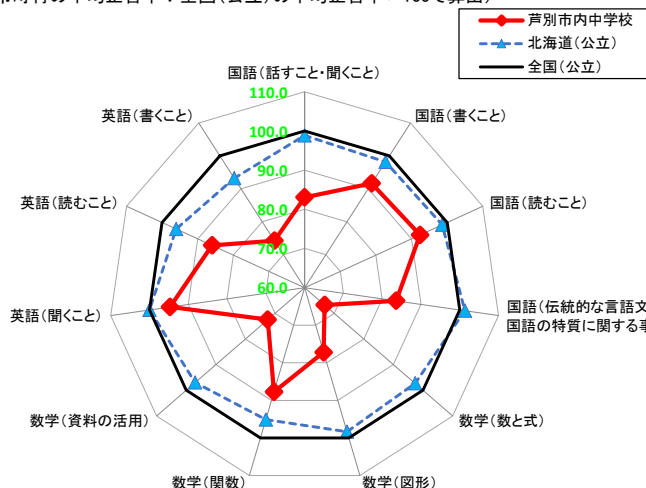
- ◎ 授業の受け方等の学習規律の定着の取組の徹底
- ◎ 家庭と連携した家庭学習の習慣化の取組の推進
- ◎ 漢字検定、算数検定の検定助成事業の継続
- ◎ 学習サポート教員・学習支援員による個に応じた指導の充実
- ◎ ICT機器を活用した指導方法やアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善の推進
- ◎ 長期休業中における補充的学習会の実施
- ◎ 小中一貫教育協議会を核とした小中一貫教育の推進
- ◎ 「教育だより」による教育活動の積極的な情報発信と共有化
- ◎ 家庭の教育力向上を目指した親子参加型の体験教室等の開催
- ◎ 話し合いや振り返り活動を取り入れた授業改善の推進

■ 芦別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:68人)

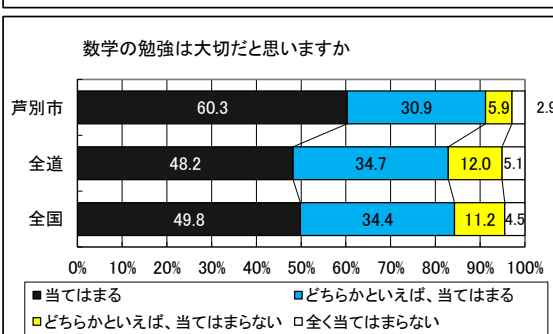
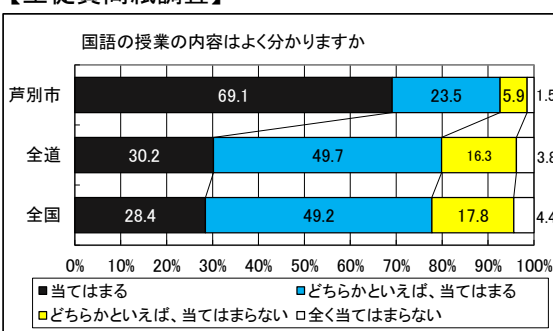
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

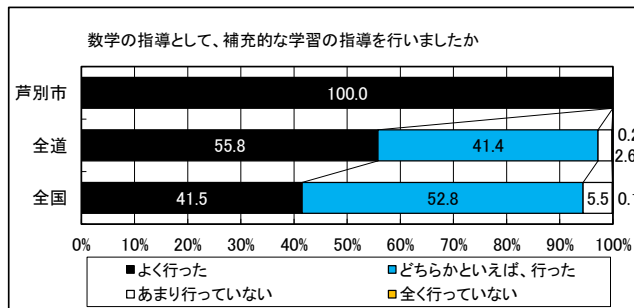
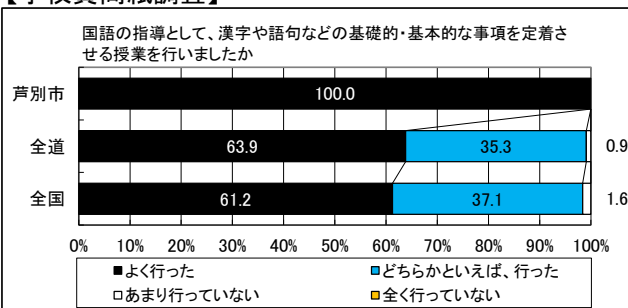
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「関数」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、漢字や語句などの基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った結果、国語の授業の内容はよく分かったと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の勉強は大切だ」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、数学の勉強は大切だと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「国語の指導として、漢字や語句などの基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「数学の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している。	

【芦別市の学力向上策】

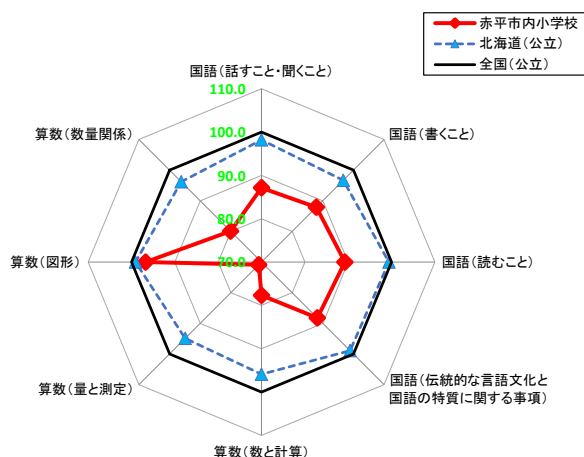
- ◎ 授業の受け方等の学習規律の定着の取組の徹底
- ◎ 家庭と連携した家庭学習の習慣化の取組の推進
- ◎ 漢字検定、数学検定、英語検定の検定助成事業の継続
- ◎ 学習支援員による個に応じた指導の充実
- ◎ 長期休業中における補充的な学習会の実施
- ◎ ICT機器を活用した指導方法やアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善の推進
- ◎ 小中一貫教育協議会を核とした小中一貫教育の推進
- ◎ 「教育だより」による教育活動の積極的な情報発信と共有化
- ◎ 話し合いや振り返り活動を取り入れた授業改善の推進

■ 赤平市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:64人)

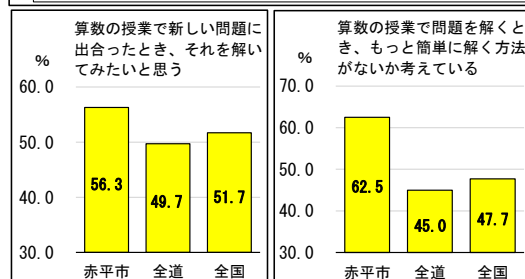
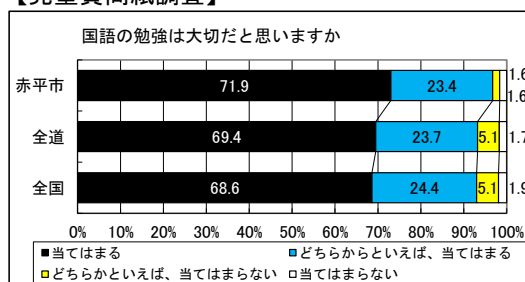
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

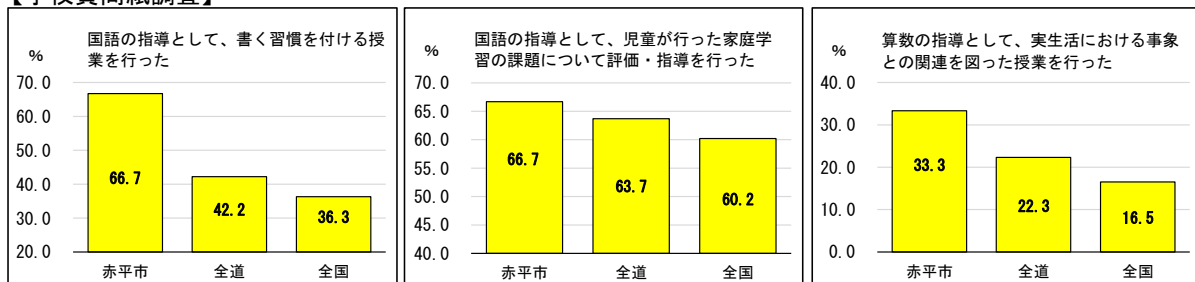
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行ったり、児童が行った家庭学習の課題について評価・指導を行ったり、丁寧な指導をした結果、国語の勉強は大切だと回答する児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の勉強は大切だ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った結果、算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う児童や問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った」と回答している学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の指導として、児童が行った家庭学習の課題について評価・指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【赤平市の学力向上策】

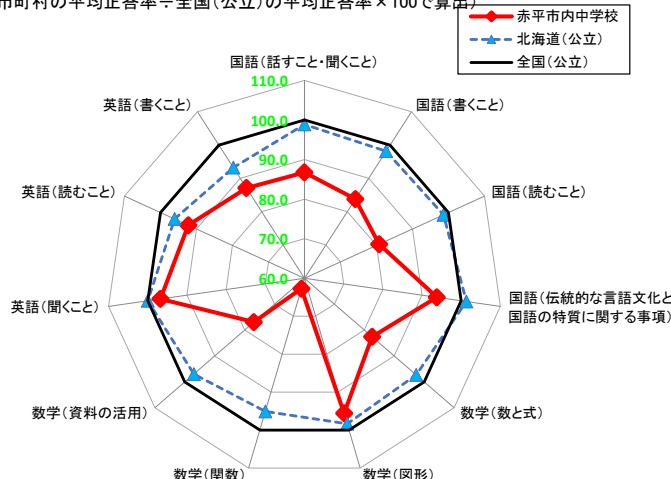
- ◎ 全国学力・学習状況調査結果等を踏まえた学力向上プランの改訂
- ◎ 小・中学校における「見通す・振り返る」活動を位置付けた授業改善の強化
- ◎ 分かりやすい授業の実現を目指したICT活用の奨励
- ◎ 学校で統一した学習規律・生活規律の徹底の継続
- ◎ 小中連携による家庭学習強化週間の設定
- ◎ 学生ボランティアを活用した学習活動サポート事業の実施
- ◎ 地域が学校運営に参画する持続可能な仕組みと地域コミュニティづくりの構築
- ◎ 5年生の全児童を対象に漢字検定又は算数検定検定料の助成
- ◎ 子どもの読書意欲の向上に資する学校移動図書館及び読書週間事業による朗読会の実施
- ◎ 公設学習塾の継続

■赤平市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:52人)

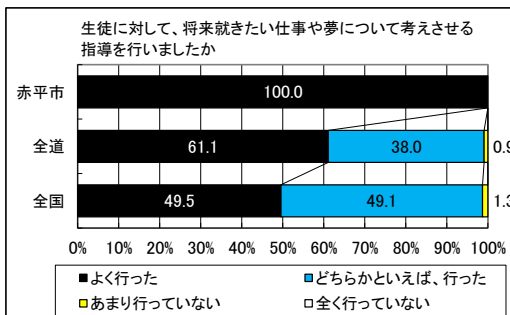
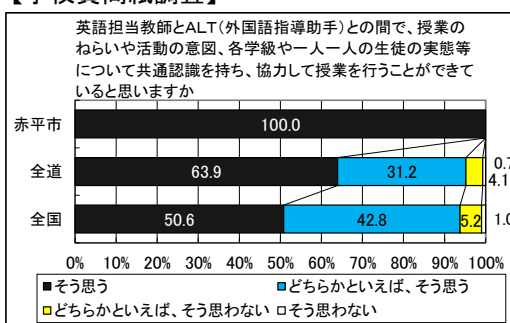
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの

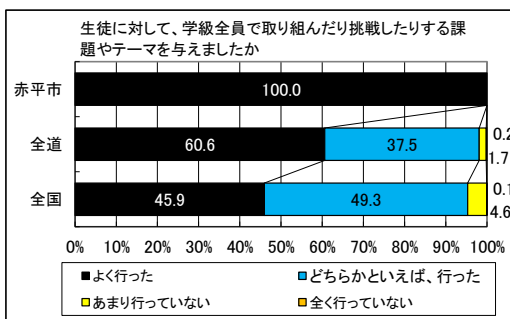
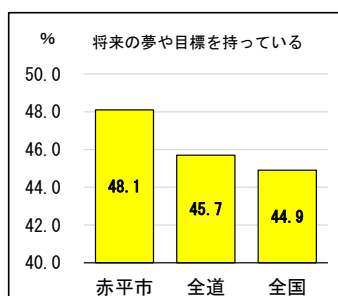
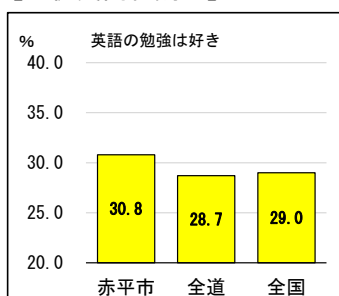
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行った結果、日常の授業改善が図られ、英語の勉強は好きと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「英語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 生徒に対して、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をよく行った。
学校質問紙	○ 英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業をよく行った。 ○ 生徒に対して、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をよく行った。 ○ 生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えた。	○ 生徒に対して、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った結果、望ましい勤労観や職業観が育まれ、将来の夢や目標を持っている生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【赤平市の学力向上策】

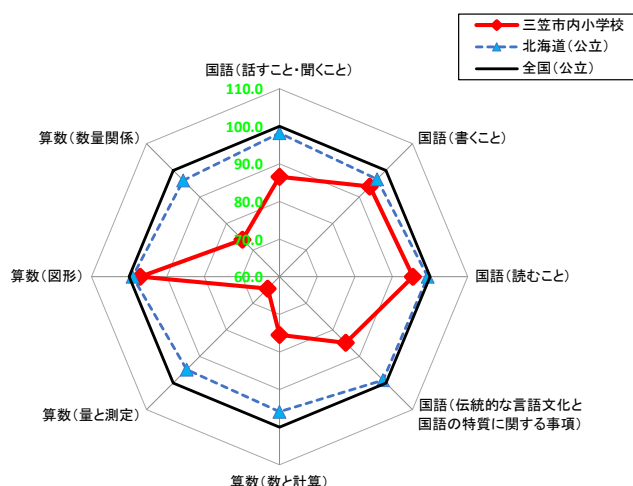
◎ 全国学力・学習状況調査結果等を踏まえた学力向上プランの改訂 ◎ 小・中学校における「見通す・振り返る」活動を位置付けた授業改善の強化 ◎ 分かりやすい授業の実現を目指したICT活用の奨励 ◎ 学校で統一した学習規律・生活規律の徹底の継続 ◎ 小中連携による家庭学習強化週間の設定 ◎ 学生ボランティアを活用した学習活動サポート事業の実施 ◎ 地域が学校運営に参画する持続可能な仕組みと地域コミュニティづくりの構築 ◎ 2年生の全生徒を対象に英語検定検定料の助成 ◎ 公設学習塾の継続	
---	--

■三笠市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:41人)

【教科全体の状況】

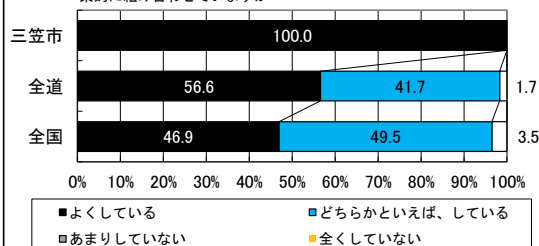
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

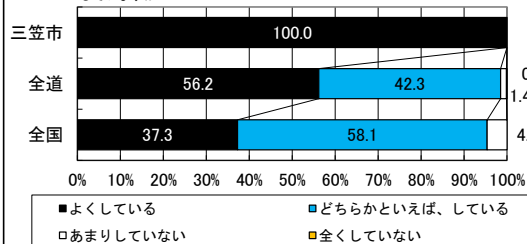


【学校質問紙調査】

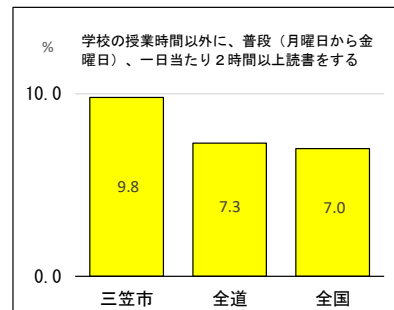
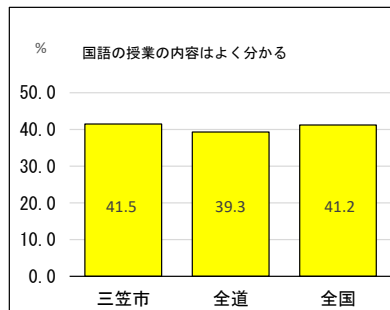
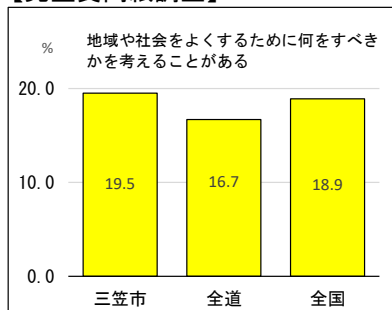
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた結果、地域に対する関心が高まり、地域や社会をよくするために何をすべきかを考える児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童が全国を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童が全国を上回っている。 ○ 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、一日当たり2時間以上読書をする」と回答した児童が全国及び全道を上回っている。	○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立した結果、授業改善が図られ、国語の授業の内容はよく分かると回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」と回答している。 ○ 全ての学校が、「児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答している。	

【三笠市の学力向上策】

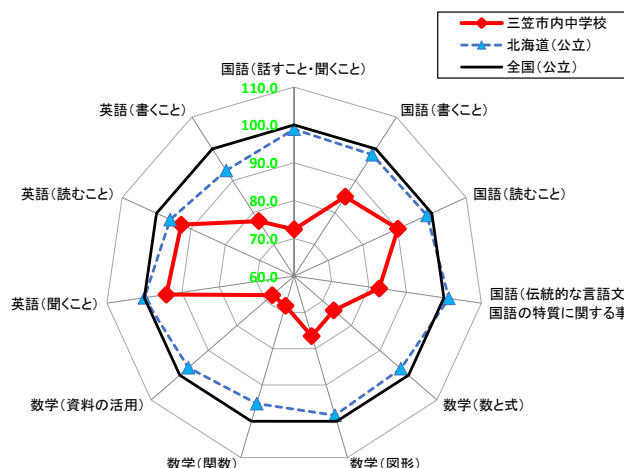
- ◎ 小・中学校における小中一貫教育の推進
- ◎ コミュニティ・スクールとしての学習支援ボランティアを活用した授業中の支援や教育活動の工夫
- ◎ 基礎学力の定着を目指した退職教員や私塾講師を活用した「学力向上未来塾推進事業」の実施
- ◎ ICT関連設備の整備・充実
- ◎ 個に応じた指導の充実を図る特別支援教育支援員の配置
- ◎ 土曜日における充実した学習機会を提供する土曜学習の推進
- ◎ よりよい読書環境を提供するための図書館の整備

■三笠市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:42人)

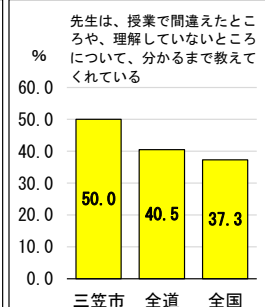
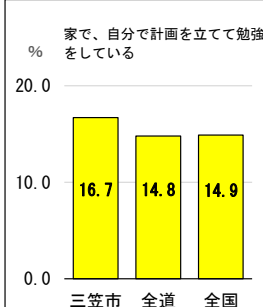
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

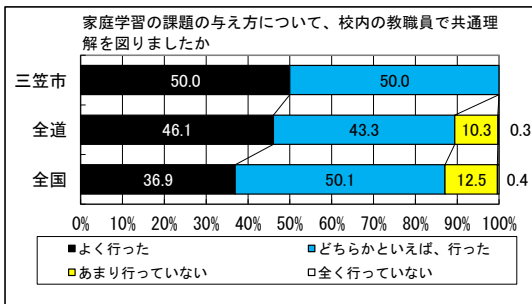
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



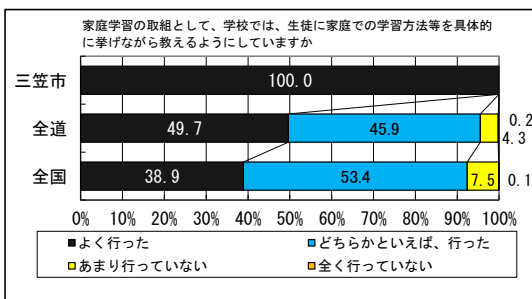
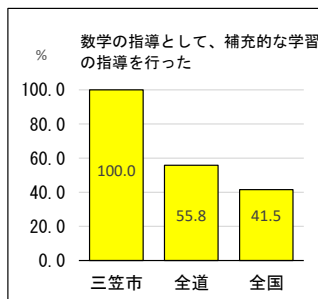
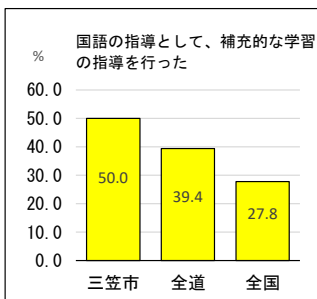
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語、数学の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図り、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体的に挙げながら教えるようにした結果、家で、自分で計画を立てて勉強をしていると回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している学校の割合が全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が、「数学の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している。 ○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体的に挙げながら教えるようにしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【三笠市の学力向上策】

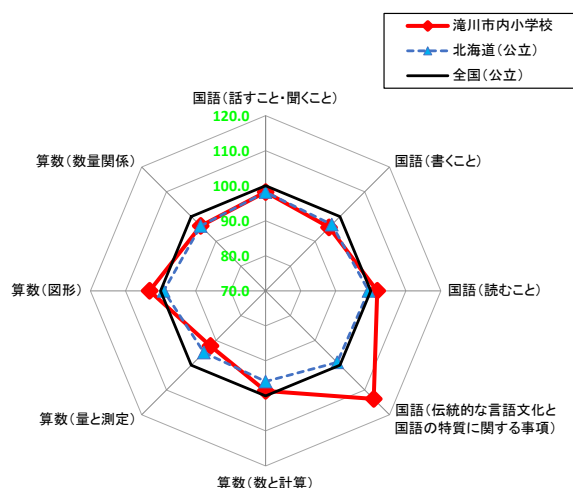
- ◎ 小・中学校における小中一貫教育の推進
- ◎ コミュニティ・スクールとして、学習支援ボランティアを活用した授業中の支援や教育活動の工夫
- ◎ 学力向上を目指し、退職教員や私塾講師を活用した「学力向上未来塾推進事業」の実施
- ◎ ICT関連設備の整備・充実
- ◎ 個に応じた指導の充実を図る特別支援教育支援員の配置
- ◎ 土曜日における充実した学習機会を提供する土曜学習の推進
- ◎ 家庭学習の定着を図る家庭学習の手引の活用
- ◎ よりよい読書環境を提供するための図書館の整備

■ 滝川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:297人)

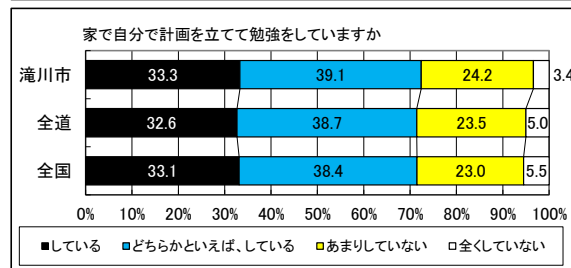
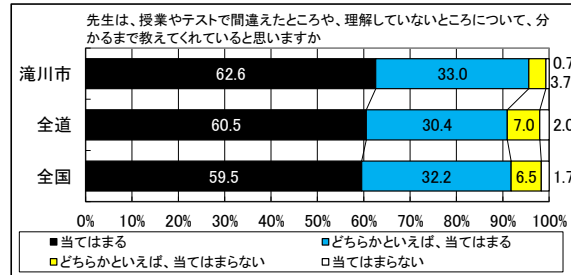
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

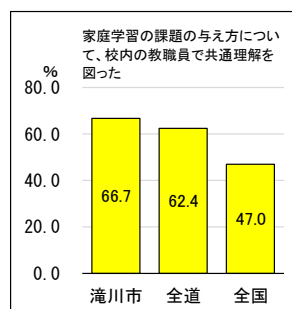
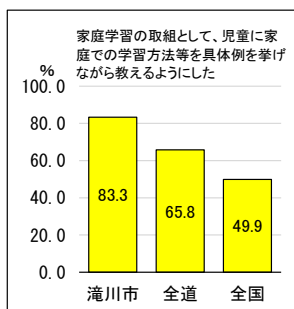
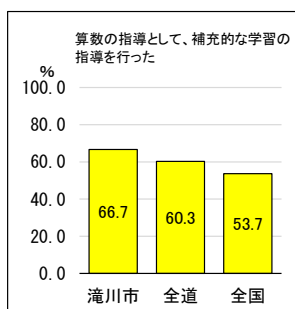
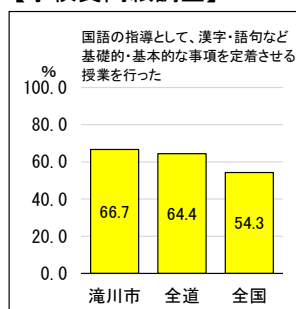
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」で、全国を上回っている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったり、算数の指導として、補充的な学習の指導を行ったりした結果、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図り、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした結果、家で自分で計画を立てて勉強をしていると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

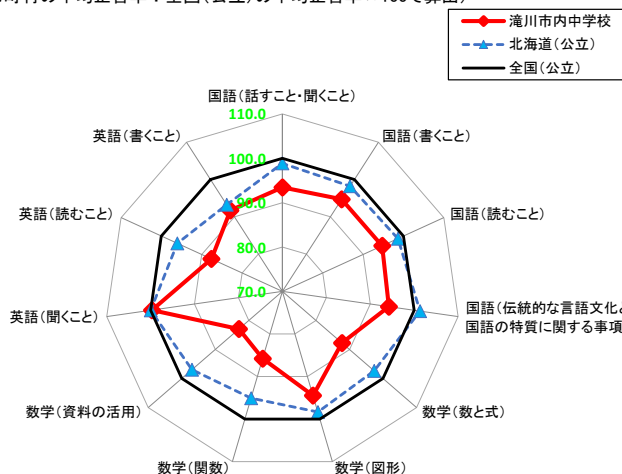
【滝川市の学力向上策】

- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践による基礎的・基本的な知識や技能を活用する能力の育成
- ◎ 「イングリッシュ・デイキャンプ」の実施を通じた小・中学生の英語によるコミュニケーションへの意欲・能力の向上
- ◎ 本市独自の少人数学級実践事業によるきめ細かな指導・支援の充実
- ◎ 家庭学習の手引による保護者と連携した家庭における予習や復習の習慣化に向けた取組の推進
- ◎ 退職教員等外部人材活用事業や「学びサポーター」の戦略的配置による少人数指導体制の積極的な推進
- ◎ 道徳科授業の効果的な指導の検証に資する本市独自の「道徳教育推進事業」の継続実施
- ◎ 「特別支援学級支援員」や「学びサポーター」の配置による個に応じた指導と支援の充実
- ◎ 「学校力向上に関する総合実践事業校」の包括的な取組による学校改善モデルの市内小・中学校への普及・還元
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業を活用した学校間の取組の発信による積極的な授業改善の推進

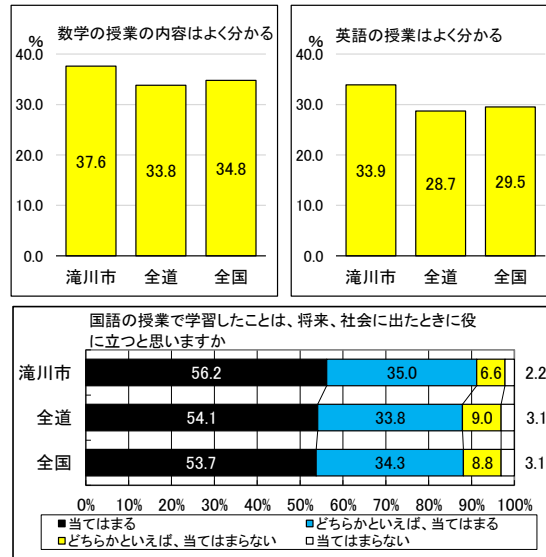
■ 滝川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:275人)

【教科全体の状況】

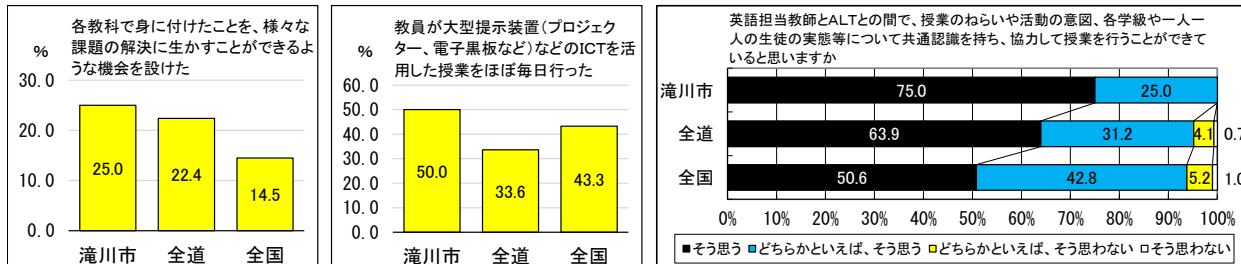
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」「読むこと」で、全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で、全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で、全国に最も近くなっている。	○ 教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業をほぼ毎日行った結果、日常の授業改善が図られ、数学や英語の授業の内容はよく分かると回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行った結果、英語の指導の充実が図られ、英語の授業がよく分かると回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業をほぼ毎日行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

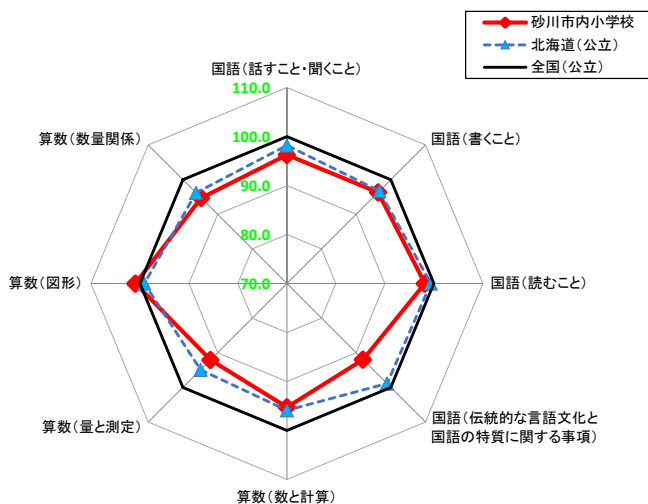
【滝川市の学力向上策】

- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践による基礎的・基本的な知識や技能を活用する能力の育成
- ◎ 「イングリッシュ・デイキャンプ」の実施を通じた小・中学生の英語によるコミュニケーションへの意欲・能力の向上
- ◎ 本市独自の少人数学級実践事業によるきめ細かな指導・支援の充実
- ◎ 家庭学習の手引による保護者と連携した家庭における予習や復習の習慣化に向けた取組の推進
- ◎ 退職教員等外部人材活用事業や「学びサポーター」の戦略的配置による少人数指導体制の積極的な推進
- ◎ 道徳科授業の効果的な指導の検証に資する本市独自の「道徳教育推進事業」の継続実施
- ◎ 「特別支援学級支援員」や「学びサポーター」の配置による個に応じた指導と支援の充実
- ◎ 「学校力向上に関する総合実践事業校」の包括的な取組による学校改善モデルの市内小・中学校への普及・還元

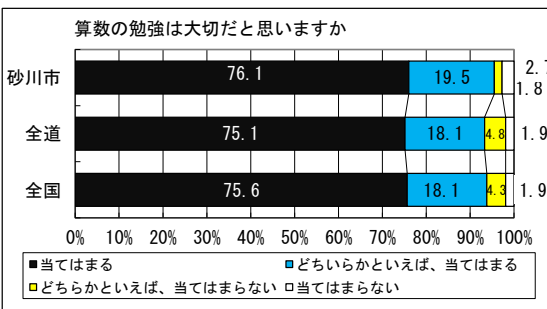
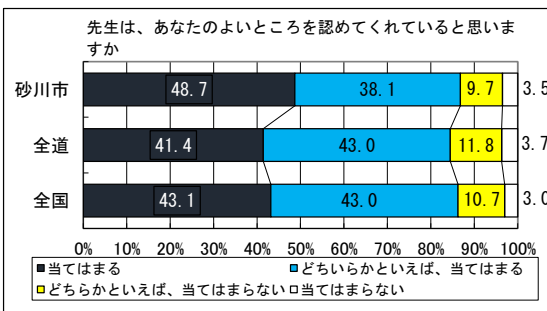
■砂川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:113人)

【教科全体の状況】

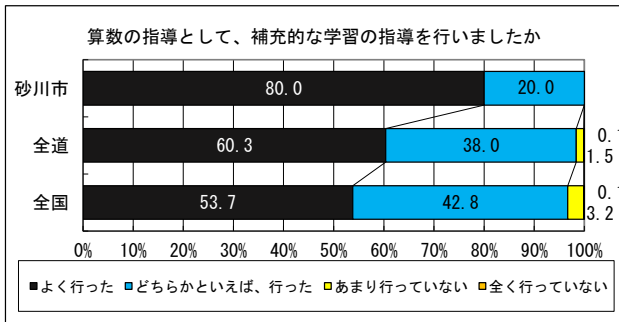
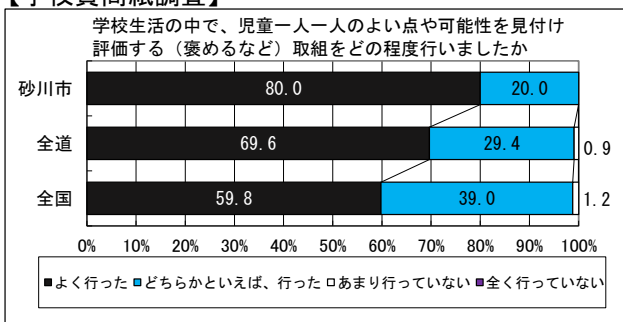
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った結果、先生は、よいところを認めてくれていると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「先生は、よいところを認めてくれている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の勉強は大切だ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、算数の勉強は大切だと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【砂川市の学力向上策】

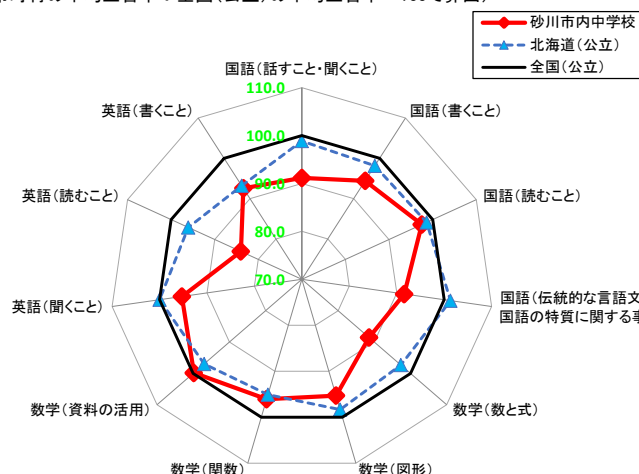
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ◎ 学力の伸びを認めて適切に「ほめる」ことを大切に、自己肯定感を高め、学習意欲の喚起を図る指導の推進
- ◎ 望ましい読書習慣の確立に資する学校図書館の整備
- ◎ 実物投影機やタブレット端末等のICT機器の活用
- ◎ 学習塾と連携した小学4、5、6年生対象の放課後学習サポート事業の実施
- ◎ 個別の指導計画と教育支援計画を活用し、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援体制の充実
- ◎ 「考え、議論する」道徳授業づくりを含めた道徳教育の質的改善を図る校内研修の推進

■砂川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:125人)

【教科全体の状況】

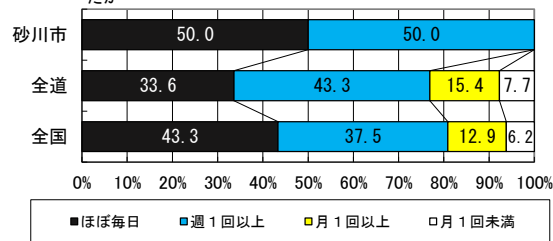
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

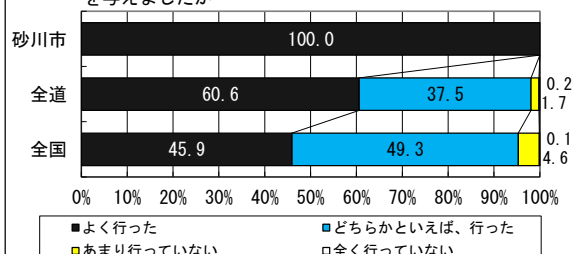


【学校質問紙調査】

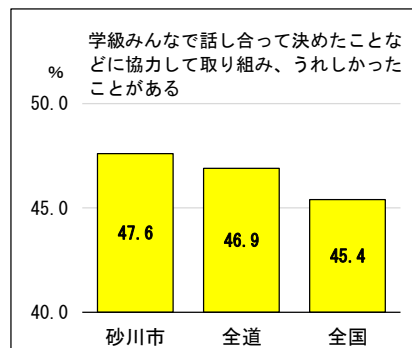
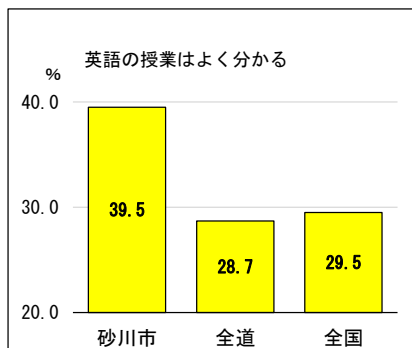
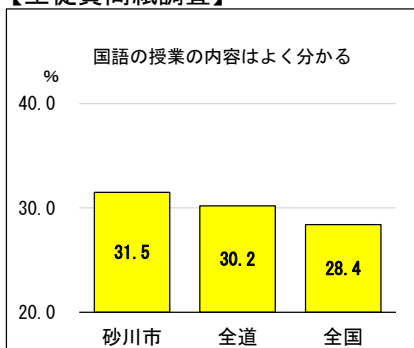
教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか



学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)のICTを活用した授業をほぼ毎日行った結果、日常の授業改善が図られ、国語の授業の内容や英語の授業がよく分かったと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の授業がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた結果、学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがあると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)のICTを活用した授業をほぼ毎日行っている」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 全ての学校が、「学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた」と回答している。	

【砂川市の学力向上策】

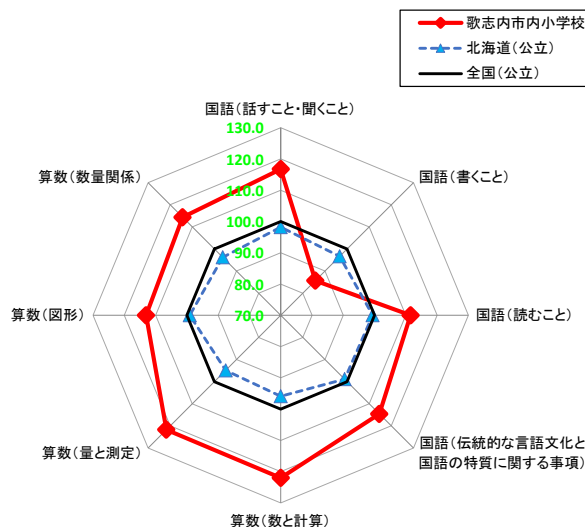
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ◎ 学力の伸びを認めて適切に「ほめる」ことを大切に、自己肯定感を高め、学習意欲の喚起を図る指導の推進
- ◎ 実物投影機やタブレット端末等のICT機器の活用
- ◎ 個別の指導計画と教育支援計画を活用し、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援体制の充実
- ◎ 「考え、議論する」道徳授業づくりを含めた道徳教育の質的改善を図る校内研修の推進

■歌志内市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:15人)

【教科全体の状況】

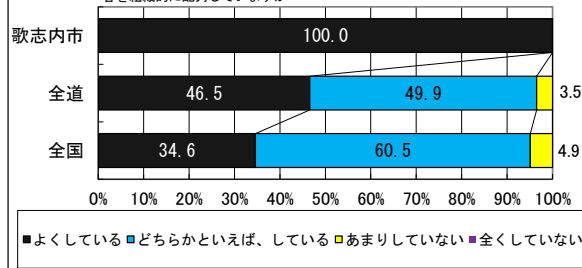
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

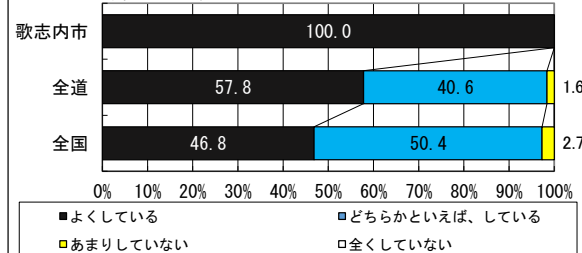


【学校質問紙調査】

指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか

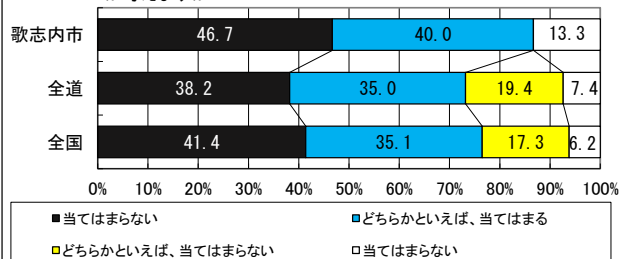


言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか

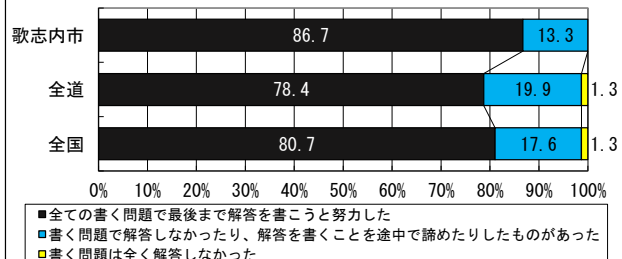


【児童質問紙調査】

算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列し、言語活動については、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ結果、日常の授業改善が図られ、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数の全ての領域で、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列した。 ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ。	

【歌志内市の学力向上策】

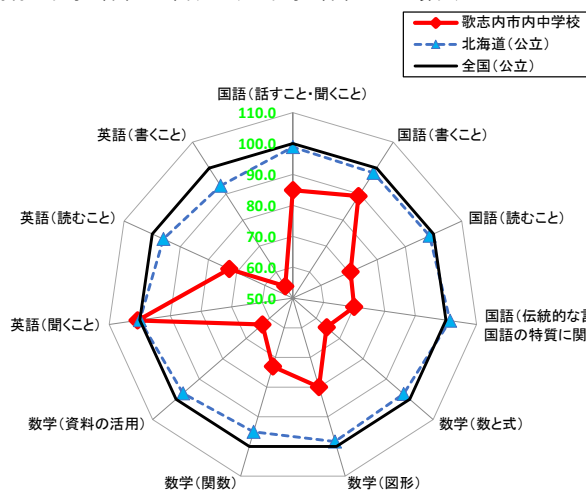
- ◎ 小学校1年生からの外国語活動の導入
- ◎ 英語力向上のため、英語検定料の助成
- ◎ 小・中学校における9年間を通した教育課程の策定と、義務教育学校設置に向けた検討
- ◎ インクルーシブ教育の理念に基づく個に応じた支援による特別支援教育の充実
- ◎ 家庭が安心して子育てに集中できる環境整備に向けた補助教材費及び修学旅行費等の助成
- ◎ 学校支援地域本部事業による児童館での学習教室の実施
- ◎ 道立図書館等との相互貸出やインターネットサービスの充実による市立図書館の環境整備の推進

■歌志内市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:19人)

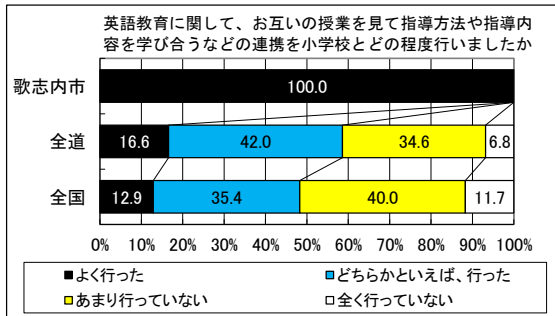
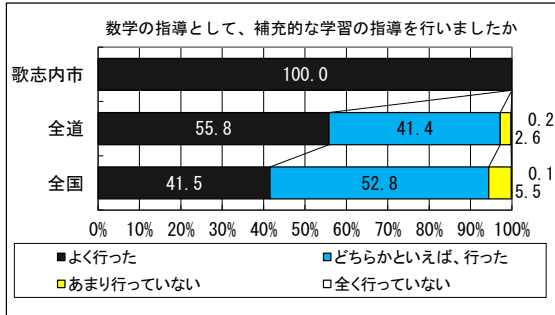
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

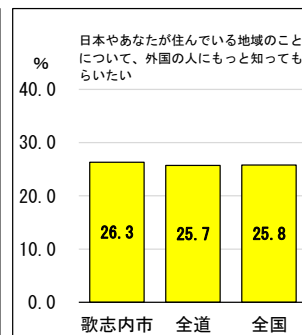
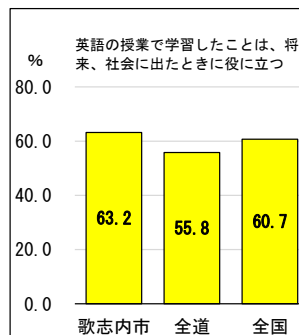
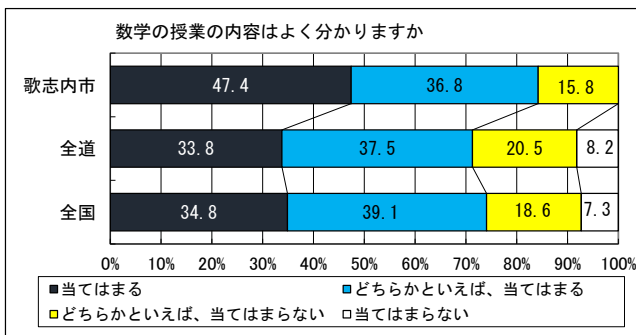
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国及び全道を上回っている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校と行った結果、指導方法などが一貫し、英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ、日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とよく行った。	

【歌志内市の学力向上策】

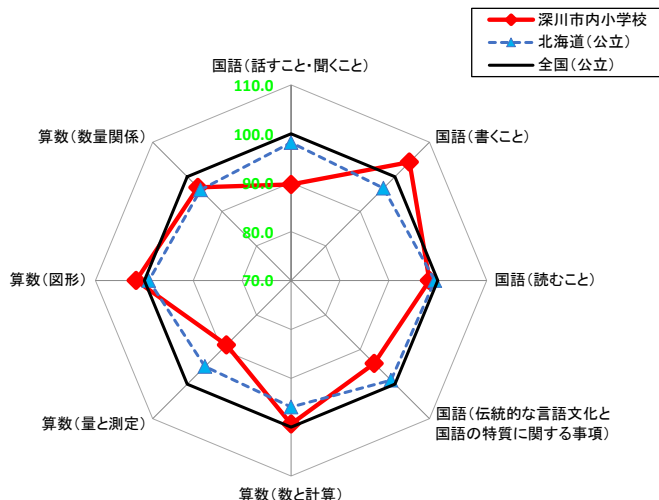
- ◎ 英語力向上のため、英語検定料の助成
- ◎ 小・中学校における9年間を通じた教育課程の策定と、義務教育学校設置に向けた検討
- ◎ インクルーシブ教育の理念に基づく個に応じた支援による特別支援教育の充実
- ◎ 家庭が安心して子育てに集中できる環境整備に向けた補助教材費及び修学旅行費等の助成
- ◎ コミュニティセンターでの公的学習塾の開設
- ◎ 道立図書館等との相互貸出やインターネットサービスの充実による市立図書館の環境整備の推進

■ 深川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:122人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

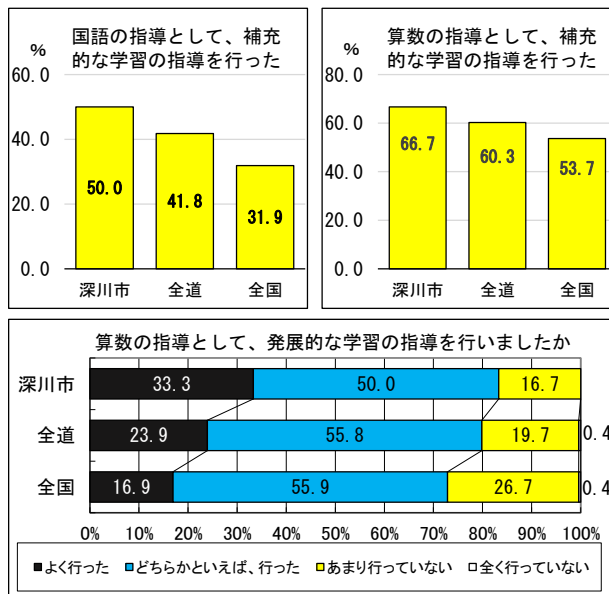
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



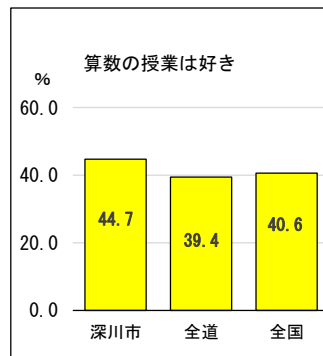
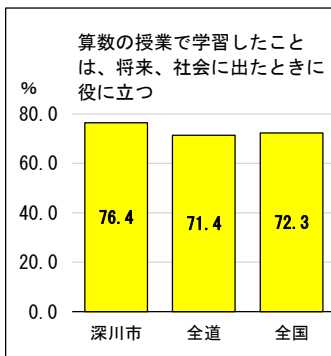
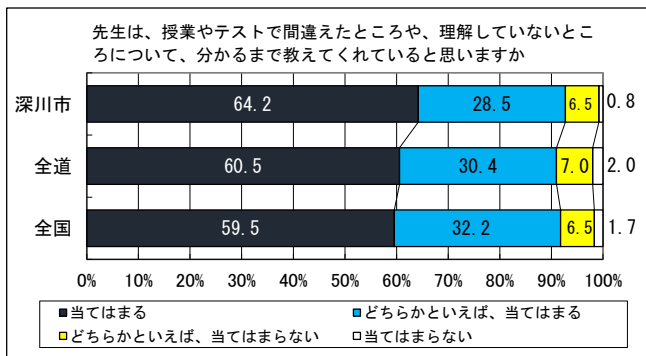
<平均正答率>

国語	算数
61	65

【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語	○ 国語では、「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 「国語及び算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

【深川市の学力向上策】

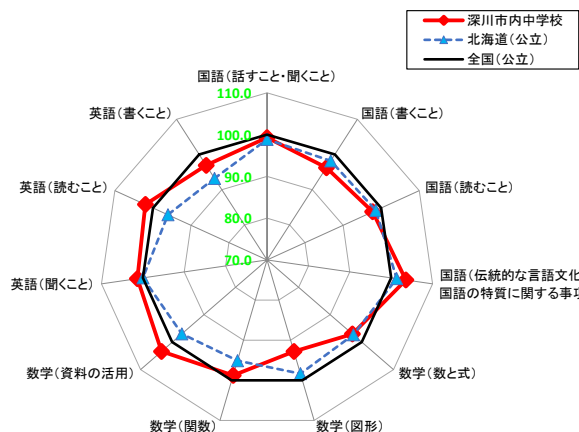
- ◎ 小・中学生を対象にした家庭学習や長期休業中の学習支援を行う「学習サポートプログラム」の継続
- ◎ 知育・徳育・体育の調和のとれた教育課程の編成及び実施・評価、改善のカリキュラム・マネジメントの機能強化
- ◎ 同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育の構築及び小・中学校における特別支援教育支援員の配置
- ◎ 市立図書館と連携した朝読書や家読の推進
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん運動」及び「ノーゲームデー」による生活習慣の確立に向けた取組の充実
- ◎ 学び続ける教員像の具現化に資する教育振興会などを活用した研修機会の充実

■ 深川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:134人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

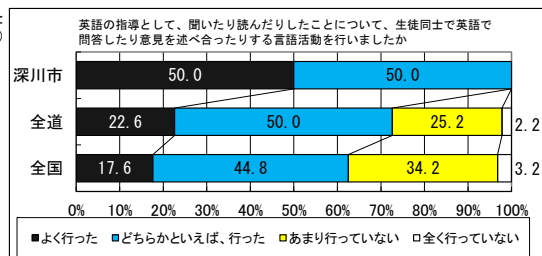
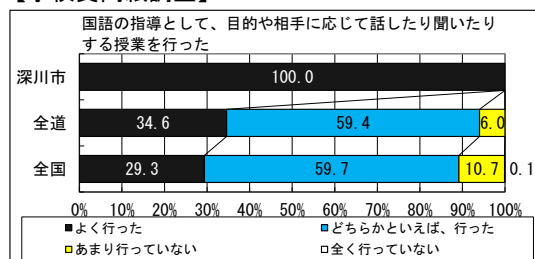
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



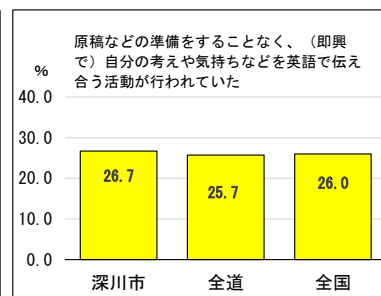
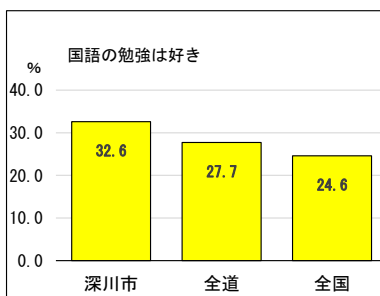
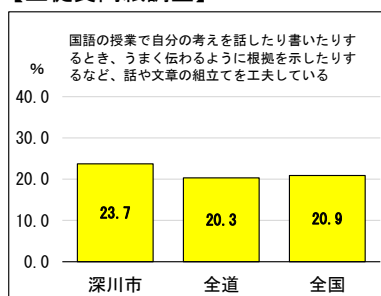
＜平均正答率＞

国語	数学	英語
72	58	56

【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った結果、国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していると回答した生徒が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通理解を持ち、協力して授業を行った結果、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと回答した生徒が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答している。 ○ 「英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【深川市の学力向上策】

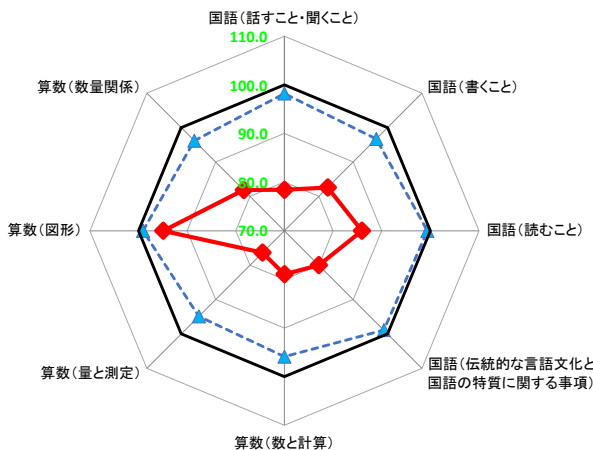
◎ 小・中学生を対象にした家庭学習や長期休業中の学習支援を行う「学習サポートプログラム」の継続 ◎ 知育・徳育・体育の調和のとれた教育課程の編成及び実施・評価、改善のカリキュラム・マネジメントの機能強化 ◎ 外国人英語指導助手の積極的な活用による外国語教育の充実 ◎ 同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育の構築及び小・中学校における特別支援教育支援員の配置 ◎ 市立図書館と連携した朝読書や家読の推進 ◎ 「早寝早起き朝ごはん運動」及び「ノーゲームデー」による生活習慣の確立に向けた取組の充実 ◎ 学び続ける教員像の具現化に資する教育振興会などを活用した研修機会の充実	
---	--

■南幌町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:49人)

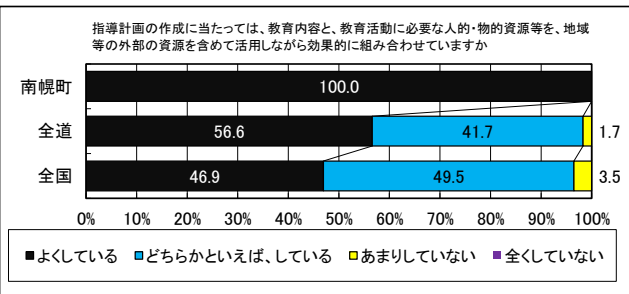
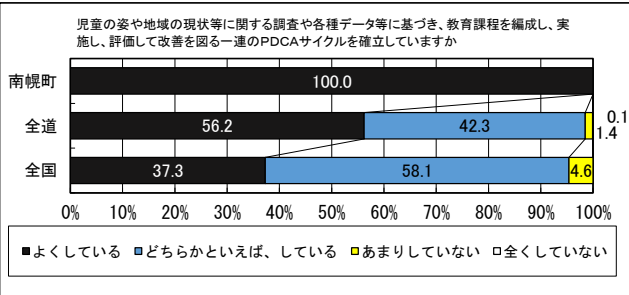
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

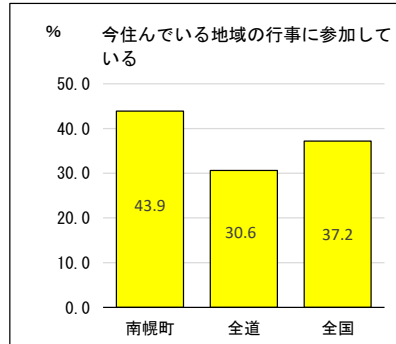
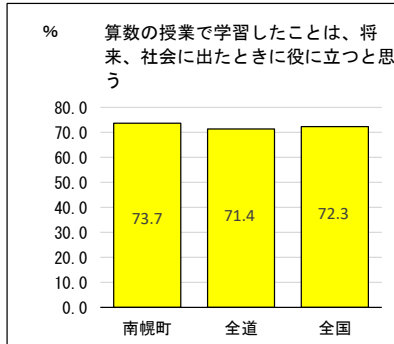
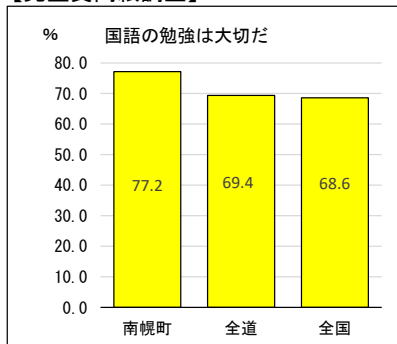
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立した結果、日常の授業改善が図られ、国語の勉強は大切だと思うと回答した児童や、算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の勉強は大切だ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が全国を上回っている。	○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた結果、地域に対する関心が高まり、今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。 ○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた。	

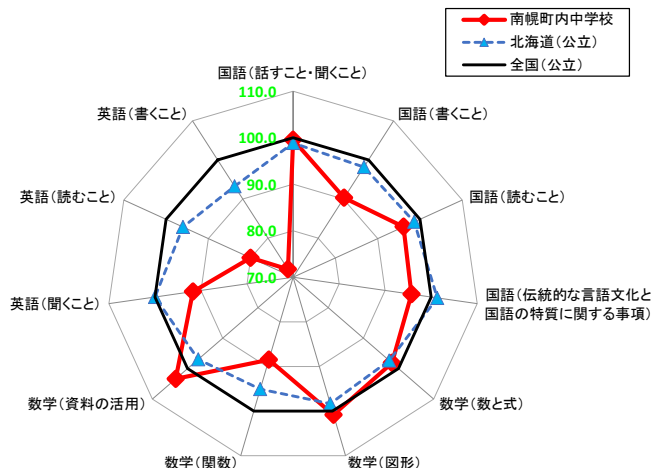
【南幌町の学力向上策】

◎ 学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールの導入 ◎ 小・中学校における基礎学力向上プラン等に基づく組織的な取組の推進 ◎ 基礎学力の定着・補完的な学習の充実に向けた公設学習塾の開設 ◎ 児童生徒のコミュニケーション能力育成に向けた外国語指導助手の配置 ◎ 児童生徒一人一人の状況に応じた指導や支援体制づくりに向けた特別支援教育学習支援員の配置 ◎ きめ細やかな指導に向けた少人数学級のための町独自による教員加配	
---	--

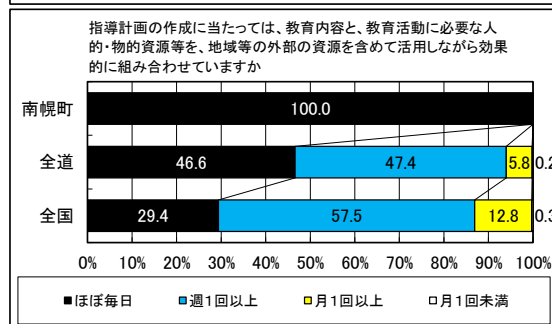
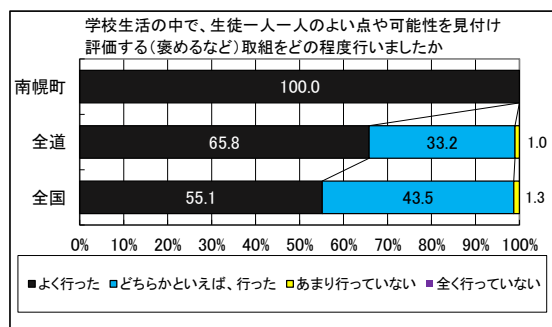
■南幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:61人)

【教科全体の状況】

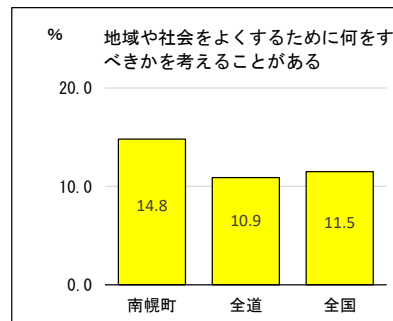
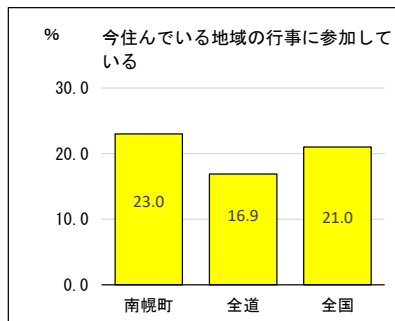
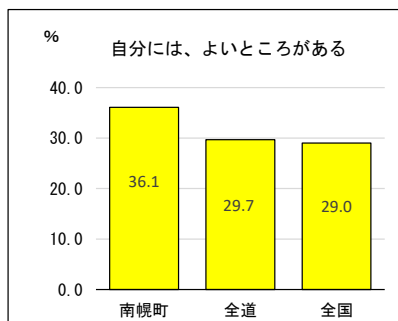
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学の「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を、学校全体として取り組んだ結果、自分には、よいところがあると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「自分には、よいところがある」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた結果、地域に対する関心が高まり、今住んでいる地域の行事に参加している、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を、学校全体として取り組んだ。 ○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた。	

【南幌町の学力向上策】

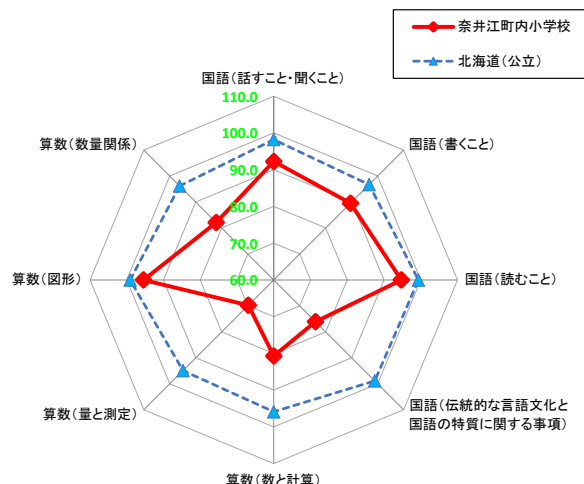
- ◎ 学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールの導入
- ◎ 小・中学校における基礎学力向上プラン等に基づく組織的な取組の推進
- ◎ 基礎学力の定着・補充的な学習の充実に向けた公設学習塾の開設
- ◎ 生きた英語を身に付ける中学生国際留学プログラム事業の実施
- ◎ 児童生徒のコミュニケーション能力育成に向けた外国語指導助手の配置
- ◎ 児童生徒一人一人の状況に応じた指導や支援体制づくりに向けた特別支援教育学習支援員の配置
- ◎ きめ細やかな指導に向けた少人数学級のための町独自による教員加配

■ 奈井江町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:28人)

【教科全体の状況】

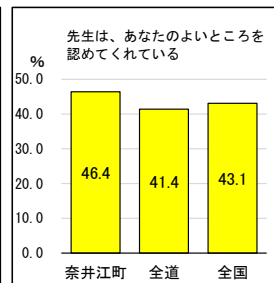
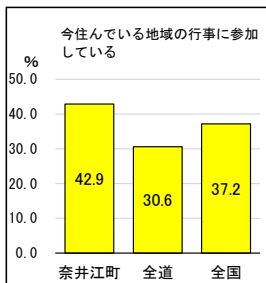
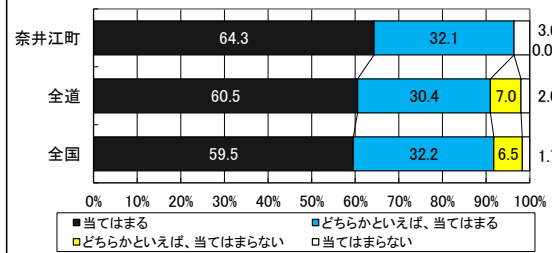
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

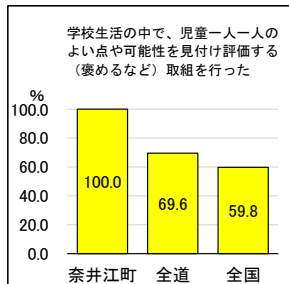
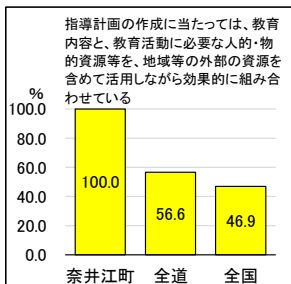
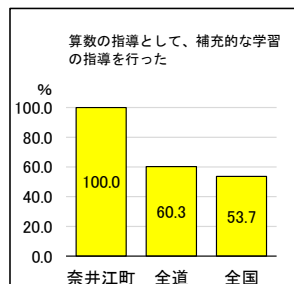
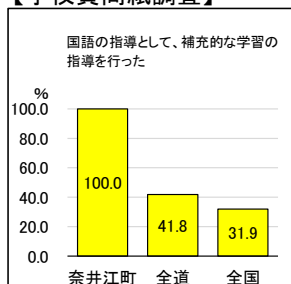


【児童質問紙調査】

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 国語や算数の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、きめ細かな指導の充実が図られ、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた結果、地域に対する関心が高まり、今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた。 ○ 学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をよく行った。	○ 学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った結果、先生は、あなたのよいところを認めてくれていると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【奈井江町の学力向上策】

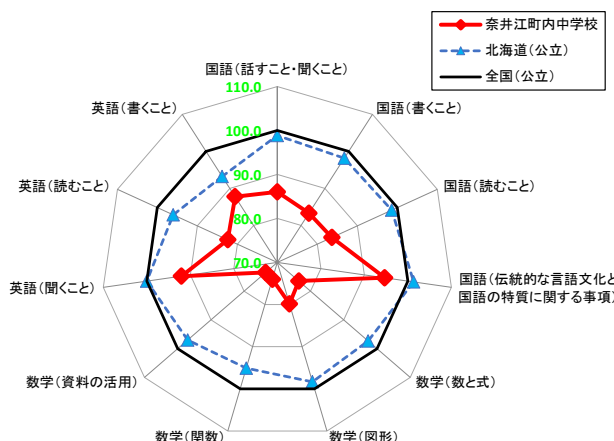
- ◎ 町教育振興会の「パワーアップ委員会」による全国学力・学習状況調査の分析
- ◎ 教職員の資質向上に向けた先進地視察の実施
- ◎ 小・中学校で統一した学習規律の徹底
- ◎ 小学校の35人学級による、きめ細かな指導の充実
- ◎ 家庭学習の定着に向けた小学校への支援員等の配置及び放課後における学習支援の実施
- ◎ 小・中学校漢字検定料の助成
- ◎ 「小中高教育の連携に関する連絡協議会」における、相互の乗り入れ授業の検討及び実施
- ◎ 町図書館司書と学校図書担当教諭による読書活動の支援
- ◎ 小学生を対象とした「子ども朝活事業」の実施

■ 奈井江町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:32人)

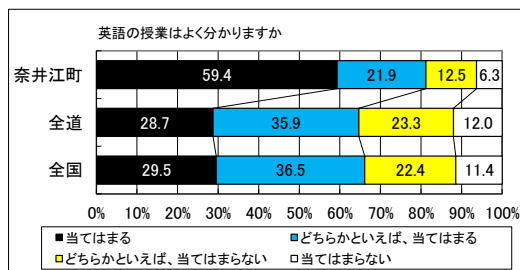
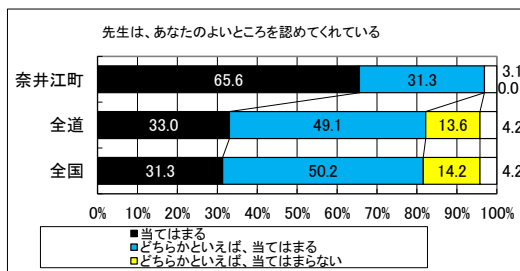
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

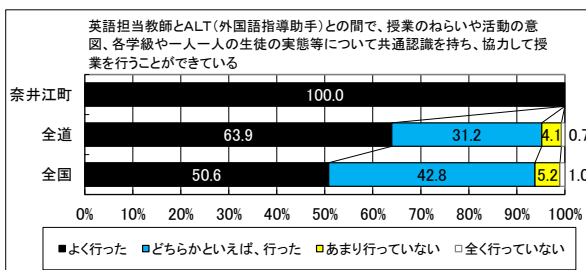
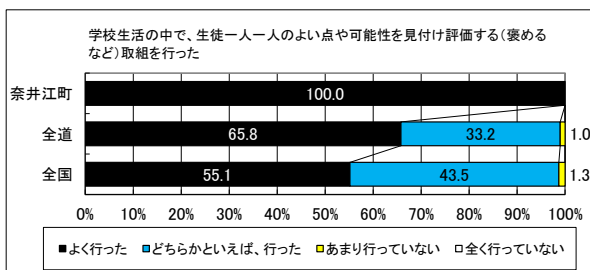
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った結果、先生は、あなたのよいところを認めてくれていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行った結果、英語の授業はよく分かったと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をよく行った。 ○ 英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業をよく行った。	

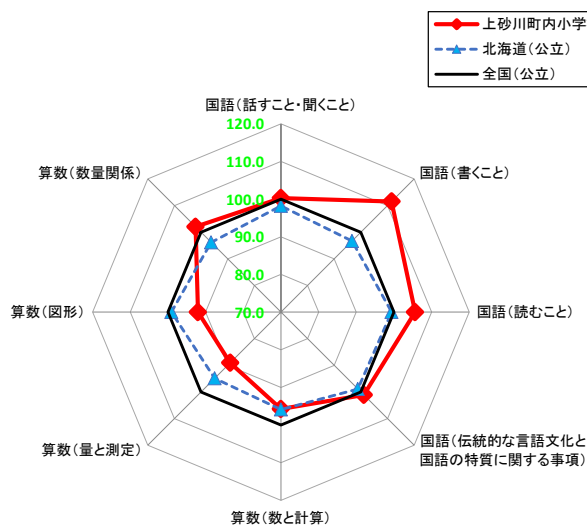
【奈井江町の学力向上策】

- ◎ 町教育振興会の「パワーアップ委員会」による全国学力・学習状況調査の分析
- ◎ 教職員の資質向上に向けた先進地視察の実施
- ◎ 小・中学校で統一した学習規律の徹底
- ◎ 家庭学習の定着と学力向上に向けた「公設学習塾」の開設
- ◎ 小・中学校漢字検定料の助成
- ◎ 「小中高教育の連携に関する連絡協議会」における、相互の乗り入れ授業の検討及び実施
- ◎ 町図書館司書と学校図書担当教諭による読書活動及び図書室を活用した学習環境整備への支援
- ◎ 中学生を対象とした英語検定料の助成

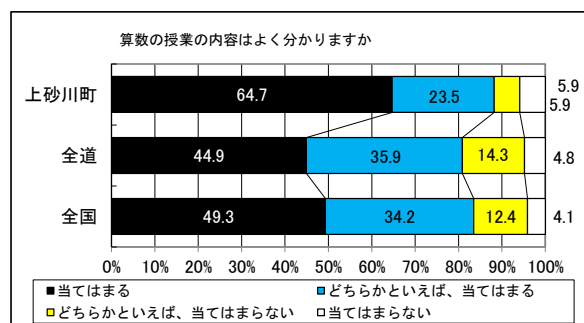
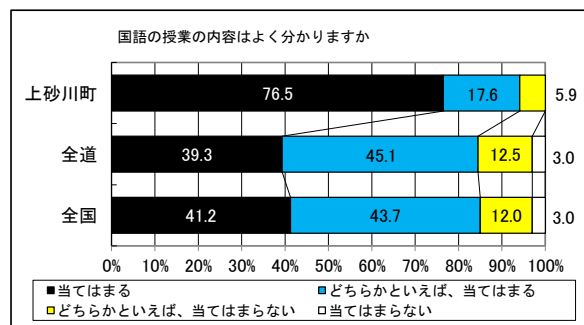
■上砂川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:17人)

【教科全体の状況】

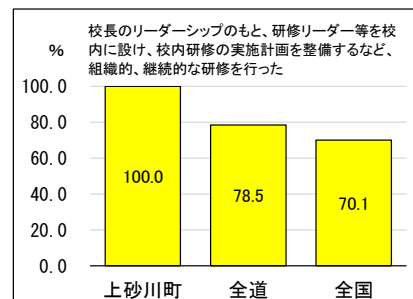
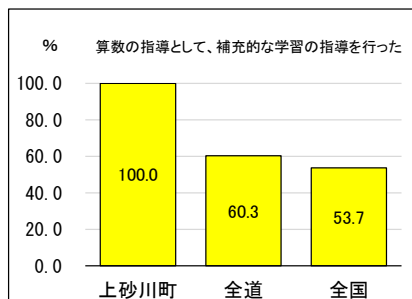
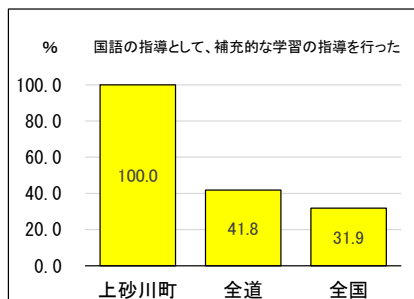
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数量関係」で全国を上回っている。	○ 国語や算数の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、国語や算数の授業の内容がよく分かると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行った。	○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語の全ての領域、算数の「数量関係」で全国を上回ったと考えられる。

【上砂川町の学力向上策】

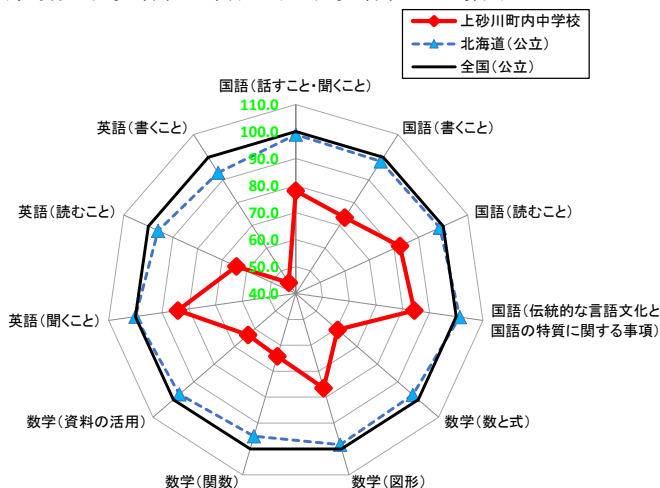
◎ 民間の学習塾と連携した小学校第4学年～第6学年児童を対象とした公設学習塾の活用 ◎ タブレットの教材ソフト導入による分かりやすい授業づくりの促進 ◎ 朝読及び漢字の書き取りを行う朝学習の実施 ◎ 民間の学習塾の協力による夏休み合宿ゼミの実施 ◎ 将来の職業への目標意識をもたせるための「学び応援事業」の実施 ◎ 児童が自ら目標を立てて取り組む生活リズムチェックシートによる生活習慣の改善 ◎ 絵本の楽しさを伝える「絵本DEココロ」による読み聞かせ事業の充実 ◎ 全児童対象の漢字検定検定料の助成	
--	--

■上砂川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:14人)

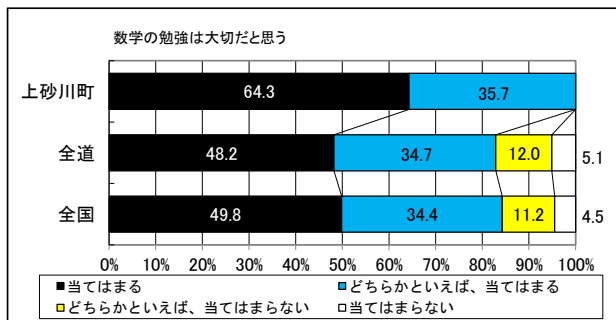
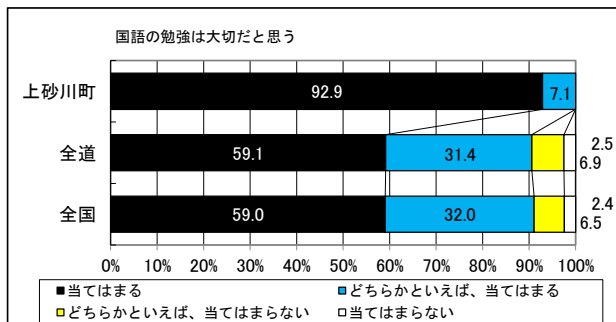
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

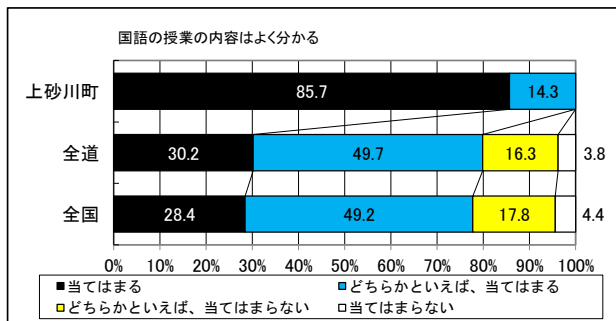
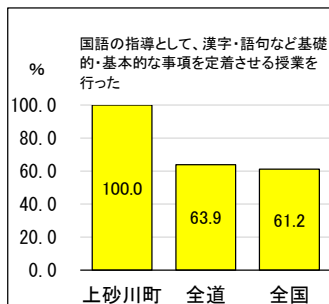
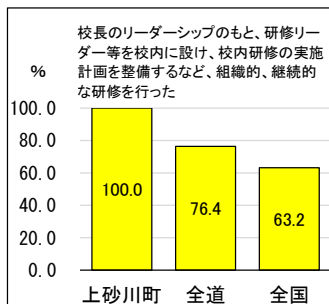
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語や数学の勉強は大切だと思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った結果、国語の授業の内容はよく分かると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行った。	

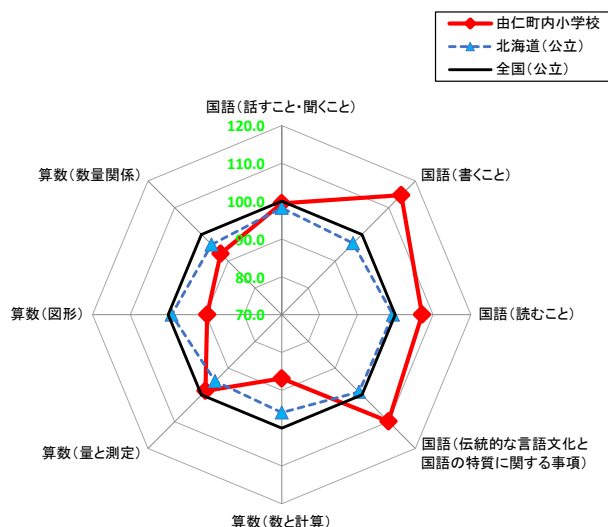
【上砂川町の学力向上策】

◎ 民間の学習塾と連携した中学校全学年生徒を対象とした公設学習塾の活用 ◎ タブレットの教材ソフト導入による分かりやすい授業づくりの促進 ◎ 将来の職業への目標意識をもたせるための「学び応援事業」の実施 ◎ 生徒が自ら目標を立てて取り組む生活リズムチェックシートによる生活習慣の改善 ◎ 中学生対象の各種検定料の助成 ◎ 基礎的・基本的な内容の定着を図るための短期集中授業の実施	
--	--

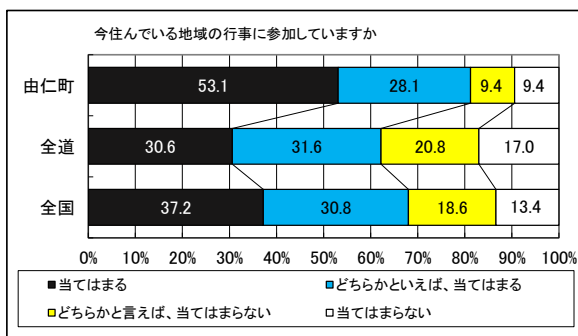
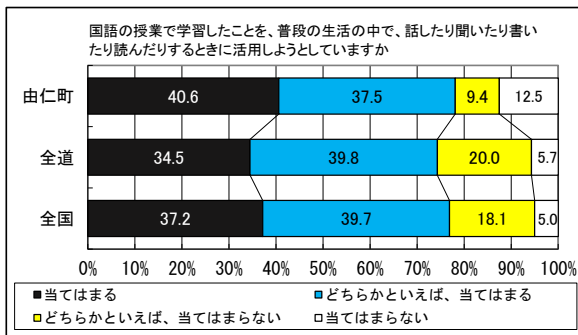
■由仁町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:32人)

【教科全体の状況】

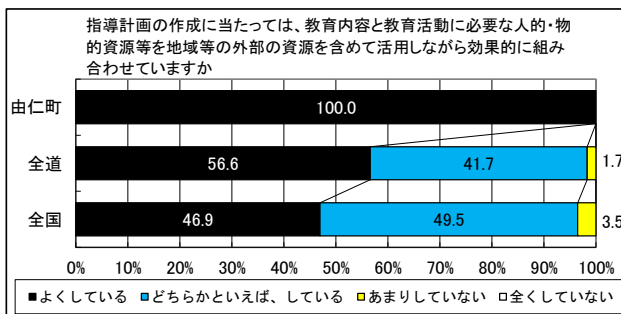
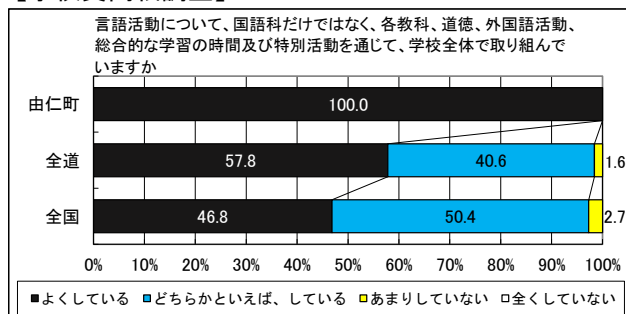
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「量と測定」で全国に最も近くなっている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ結果、国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせる結果、地域に対する関心が高まり、今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ。 ○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた。	

【由仁町の学力向上策】

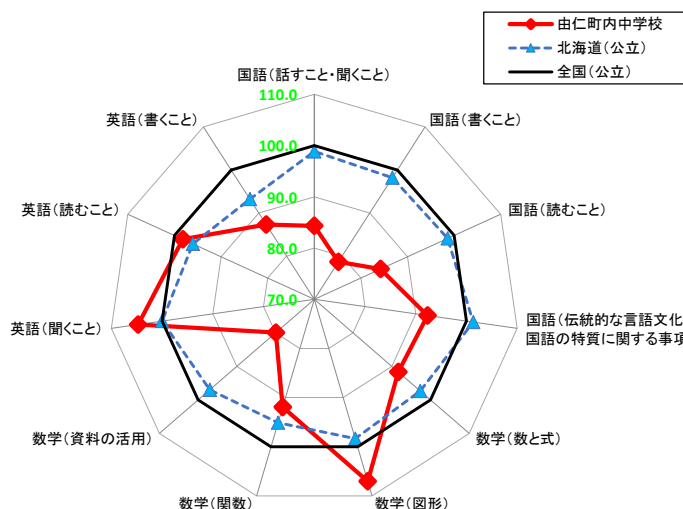
◎ 由仁町学力向上委員会による全国学力・学習状況調査等を活用した学力や学習習慣の分析及び対策の検討 ◎ 9年間を通じた教育課程の編成及び「小中一貫教育」推進に向けた検討組織の設置 ◎ 放課後学習や長期休業期間中の個別指導の実施 ◎ 各種研修講座への積極的な参加及び教育振興会への支援 ◎ 星槎道都大学の学生や教員を活用した補完的な学習の取組
--

■由仁町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:40人)

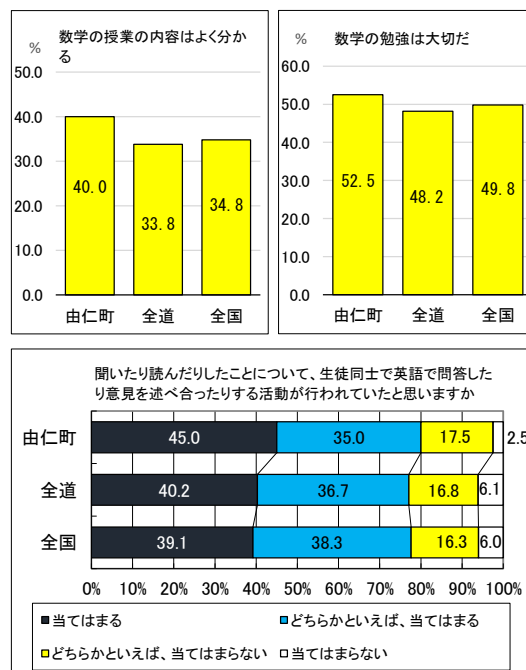
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

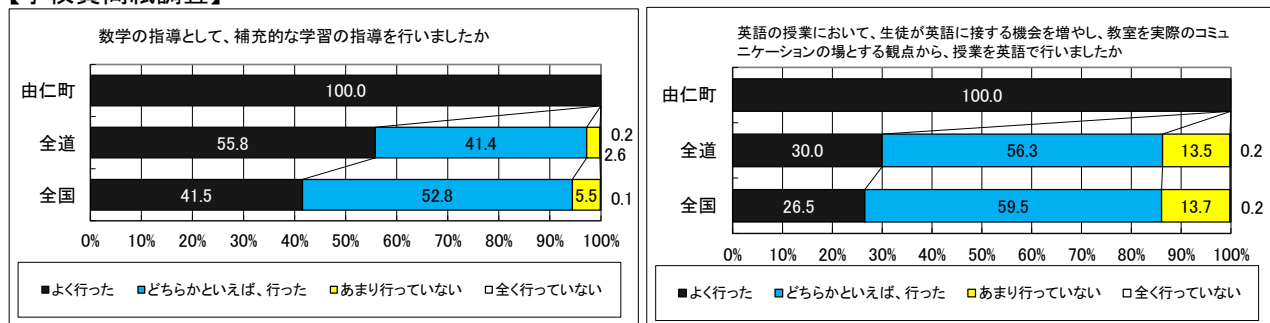
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「図形」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国を上回っている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、数学の授業の内容がよく分かったと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の勉強は大切だ」と回答した生徒の割合が、全国を上まわっている。 ○ 「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、授業を英語で行ったと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、授業を英語でよく行った。	

【由仁町の学力向上策】

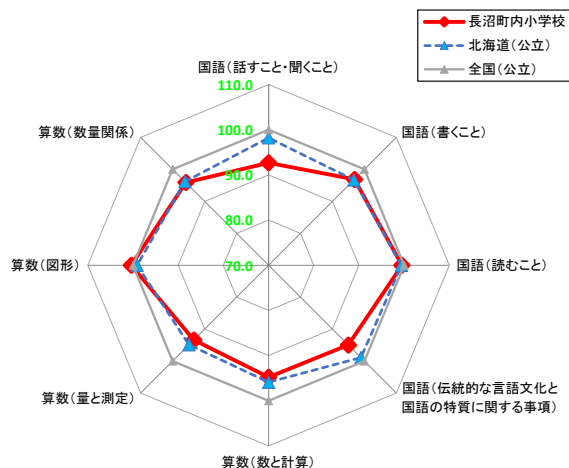
- ◎ 由仁町学力向上委員会による全国学力・学習状況調査等を活用した学力や学習習慣の分析及び対策の検討
- ◎ 9年間を通じた教育課程の編成及び「小中一貫教育」推進に向けた検討組織の設置
- ◎ 放課後学習や長期休業期間中の個別指導の実施
- ◎ 各種研修講座への積極的な参加及び教育振興会への支援
- ◎ 星槎道都大学の学生や教員を活用した補充的な学習の取組

■長沼町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:89人)

【教科全体の状況】

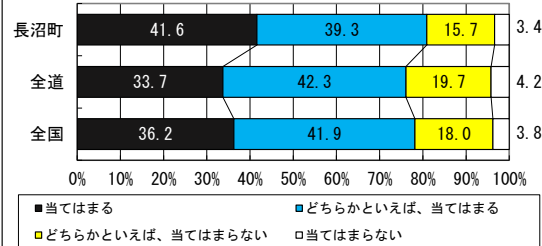
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

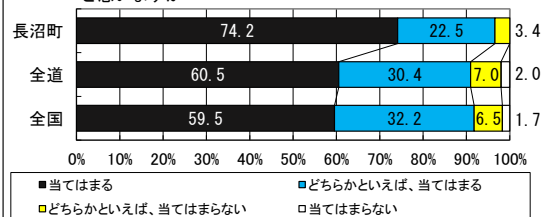


【児童質問紙調査】

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか

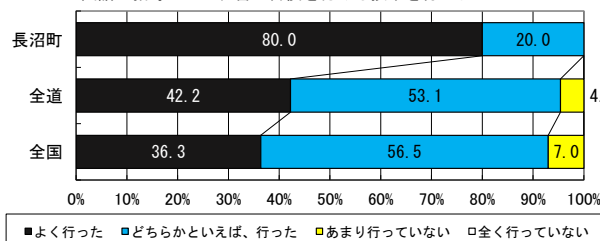


先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

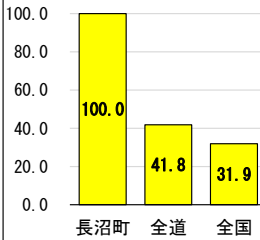


【学校質問紙調査】

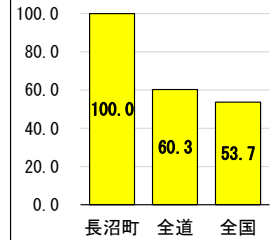
国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか



国語の指導として、補充的な学習の指導を行った



算数の指導として、補充的な学習の指導を行った



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った結果、国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 国語及び算数の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が「国語及び算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している。	

【長沼町の学力向上策】

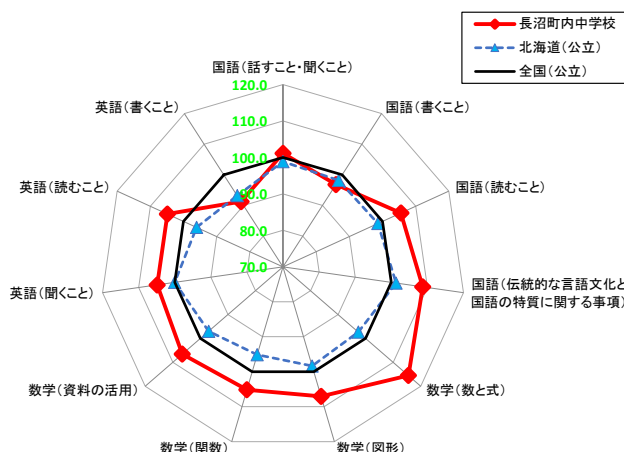
- ◎ 教育委員会教育支援室における各種調査結果の分析及び学力向上に向けた取組の推進
- ◎ 義務教育9年間を見通した学校間及び関係機関との連携支援
 - ・小・中学校、PTA連合会、教育委員会の連携による「家庭学習強化週間」の実施
 - ・小中連携小委員会における教育課題の共有と改善策の検討等
- ◎ 教職員の指導力向上に向けた「授業(知・徳・体)改善推進事業」による研修支援の充実
- ◎ ICTを活用した学びの推進を図る「ICT環境整備計画」の策定
- ◎ 「教育研究協議会」における教職員の教科・課題別専門研修の推進
- ◎ 学校、家庭、地域が連携した「放課後子供教室」及び「土曜日の学習支援事業」の児童センターを拠点とした展開
- ◎ 学習機会を保障する場としての「放課後児童クラブ」の有効活用
- ◎ 英語によるコミュニケーション能力育成に向けた外国語指導助手の配置

■長沼町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:70人)

【教科全体の状況】

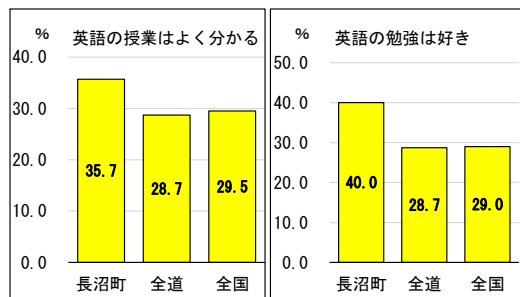
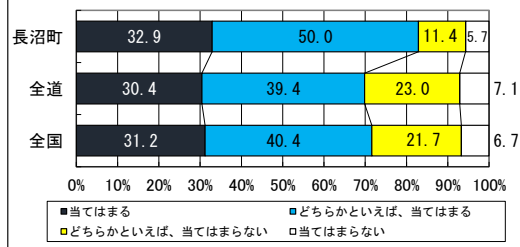
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



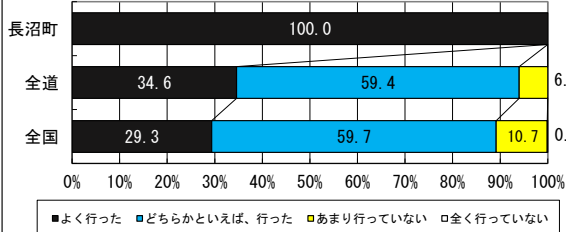
【生徒質問紙調査】

国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか

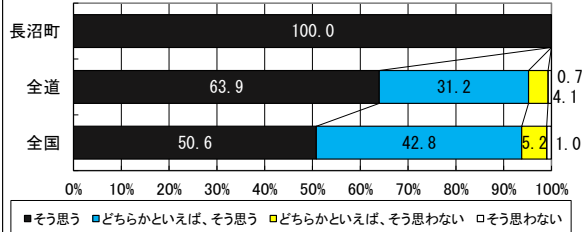


【学校質問紙調査】

国語の授業として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか



英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った結果、国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用したと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行った結果、英語の授業はよく分かると思える。
学校質問紙	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 英語担当教師とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業をよく行った。	

【長沼町の学力向上策】

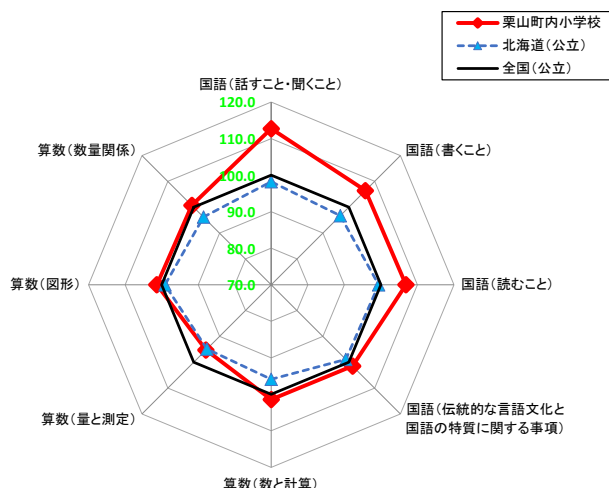
- ◎ 教育委員会教育支援室における各種調査結果の分析及び学力向上に向けた取組の推進
- ◎ 義務教育9年間を見通した学校間及び関係機関との連携支援
 - ・小・中学校、PTA連合会、教育委員会の連携による「家庭学習強化週間」の実施
 - ・小中連携小委員会における教育課題の共有と改善策の検討等
- ◎ 教職員の指導力向上に向けた「授業(知・徳・体)改善推進事業」による研修支援の充実
- ◎ ICTを活用した学びの推進を図る「ICT環境整備計画」の策定
- ◎ 「教育研究協議会」における教職員の教科・課題別専門研修の推進
- ◎ 英語によるコミュニケーション能力育成に向けた外国語指導助手の配置

■ 栗山町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:92人)

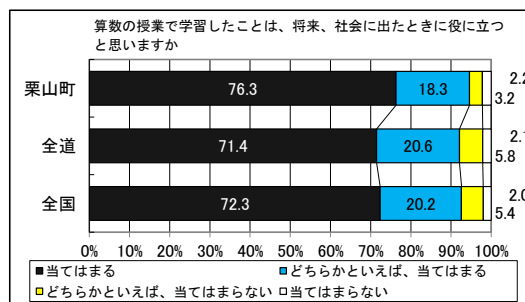
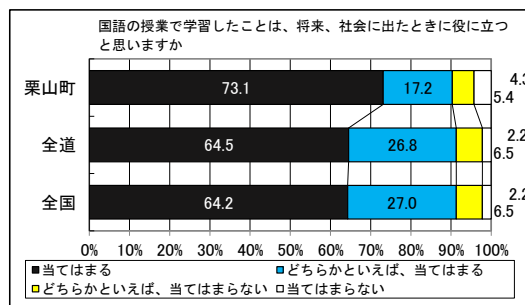
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

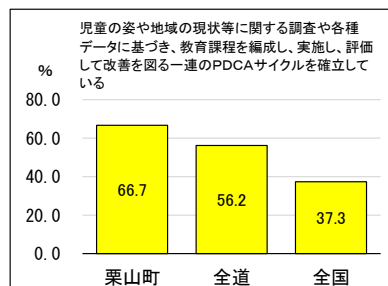
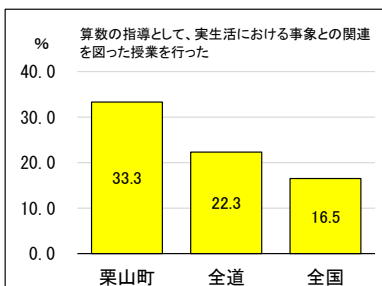
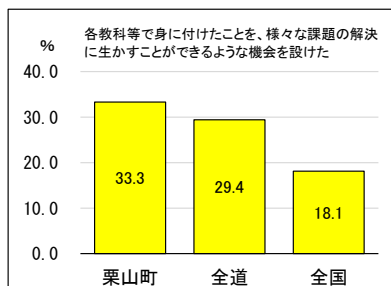
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。	○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた結果、国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回り、算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立した結果、日常の授業改善が図られ、国語の全ての領域、算数の「数と計算」「図形」「数量関係」で全国を上回ったと考えられる。

【栗山町の学力向上策】

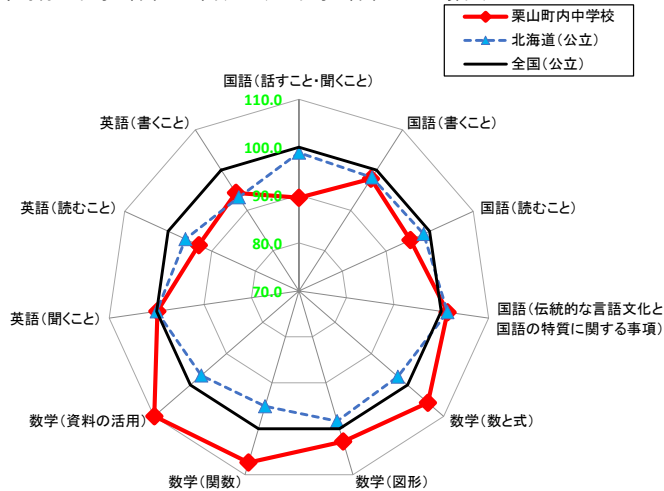
- ◎ 「ふるさと栗山」の地域資源を活用した栗山独自のキャリア教育の推進
- ◎ 保護者や地域住民と連携し、地域とともにある学校づくりを目指すコミュニティ・スクール制度の推進
- ◎ 特別支援教育支援員の増員による子ども一人ひとりの実態に応じた指導の充実
- ◎ 教職員の授業力を高めるための、指導・助言を行う専門職員の配置
- ◎ 授業力の向上に向けた、学校や教育振興会などの教職員が学び合う環境の整備
- ◎ 学校での読書活動の拡大を目指した「ミニくりプロジェクト」の実施及び学校図書室担当司書による学習活動の支援
- ◎ ICT機器を含めた学びの環境づくりの推進及び各教科の教材や学校施設の計画的な整備

■ 栗山町内中学校の状況及び学力向上策（学校数：1校、生徒数：86人）

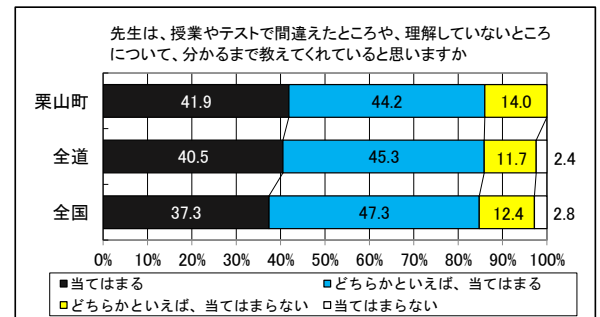
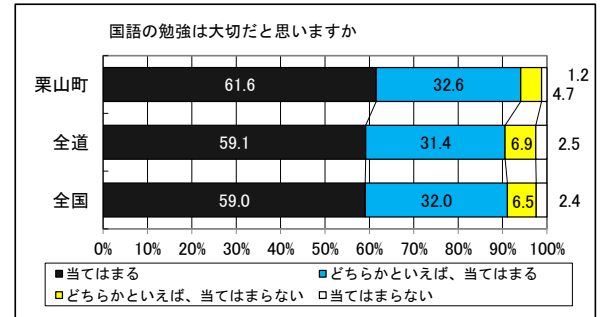
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

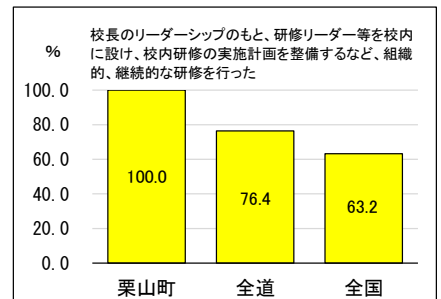
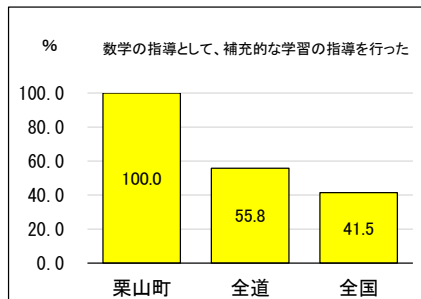
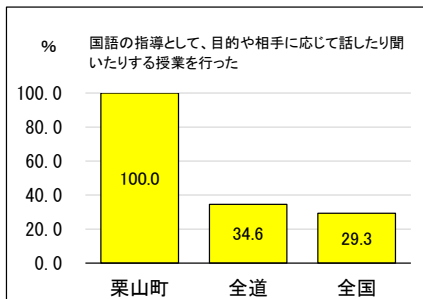
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の勉強は大切だと思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
生徒質問紙	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行った。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った結果、国語の勉強は大切だと思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数の全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙		

【栗山町の学力向上策】

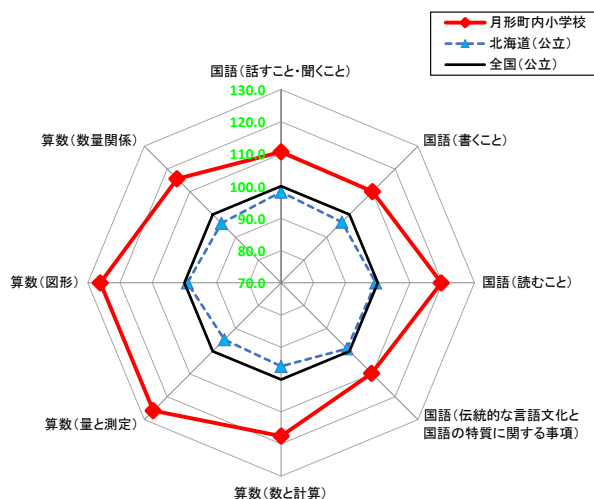
- ◎ 「ふるさと栗山」の地域資源を活用した栗山独自のキャリア教育の推進
- ◎ 保護者や地域住民と連携し、地域とともにある学校づくりを目指すコミュニティ・スクール制度の推進
- ◎ 特別支援教育支援員の増員による子ども一人ひとりの実態に応じた指導の充実
- ◎ 教職員の授業力を高めるための、指導・助言を行う専門職員の配置
- ◎ 授業力の向上に向けた、学校や教育振興会などの教職員が学び合う環境の整備
- ◎ 学校での読書活動の拡大を目指した「ミニクリプロジェクト」の実施及び学校図書室担当司書による学習活動の支援
- ◎ ICT機器を含めた学びの環境づくりの推進及び各教科の教材や学校施設の計画的な整備

■月形町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:15人)

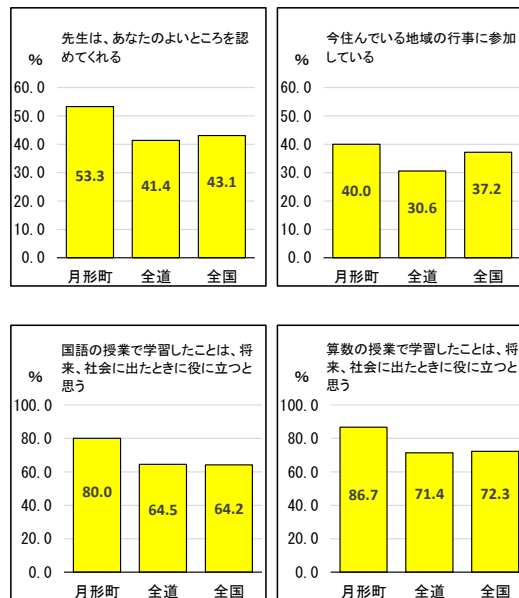
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

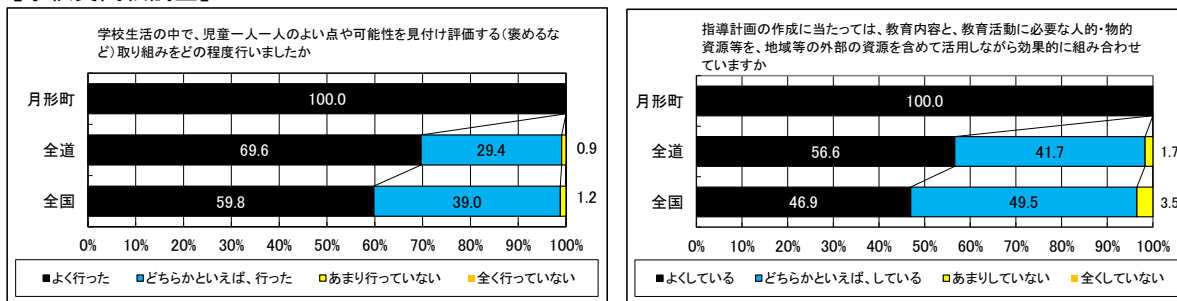
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教 科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取り組みを行った結果、先生は、あなたのよいところを認めてくれると思うと回答した児童の割合が、全国を上回っている。
児童質問紙	○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせたと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取り組みをよく行った。 ○ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた。	

【月形町の学力向上策】

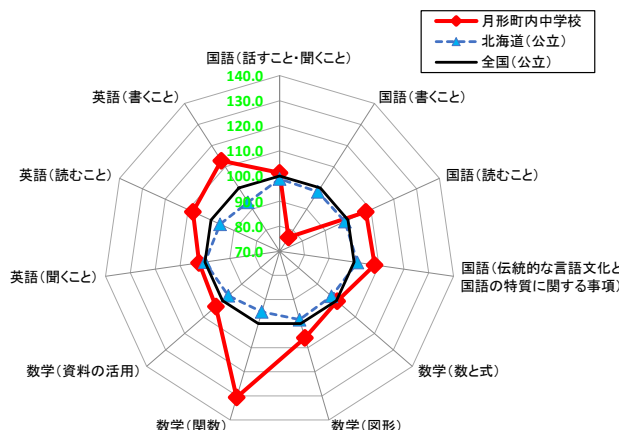
◎ 指導方法・体制の工夫等、授業の創意工夫につながる校内研修の促進 ◎ 習熟の程度に応じた指導や主体的・協働的な学習を取り入れた指導の推進 ◎ 「外国語活動・外国語科」における指導方法の研修の促進及び中学校教員による小学校への乗り入れ授業の実施 ◎ 実社会や実生活との関連を図る教育課程の編成・実施及びマネジメントの機能を生かした教育活動の検証と改善 ◎ 補充的な学習やチーム・ティーチングによる子どもの学習意欲を高め、思考を促す指導の充実 ◎ 「見通す・振り返る」学習活動の充実による主体的な学びの実現を図る授業改善の推進 ◎ 町単費で3名の時間講師の配置 ◎ 英語検定の推奨(小学生は3級、中学生は準2級、高校生は2級取得で海外短期留学制度) ◎ 地域ボランティアによる読み聞かせ及び学習支援による地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進	
---	--

■月形町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:15人)

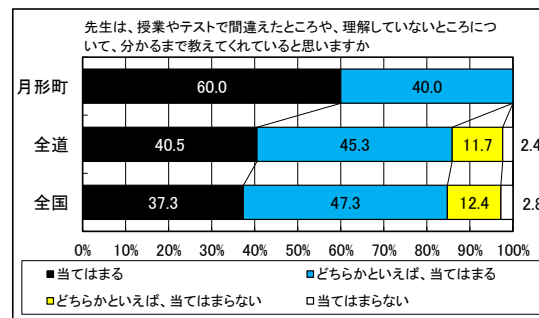
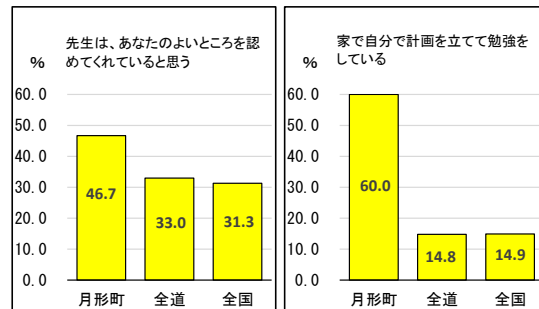
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

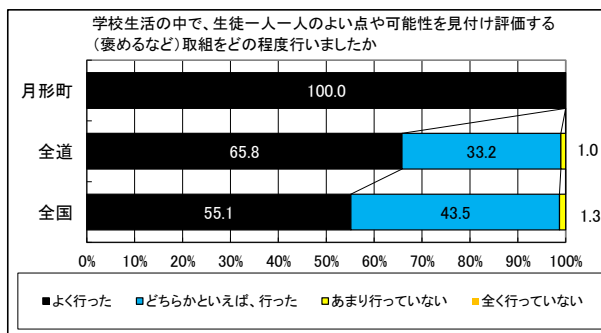
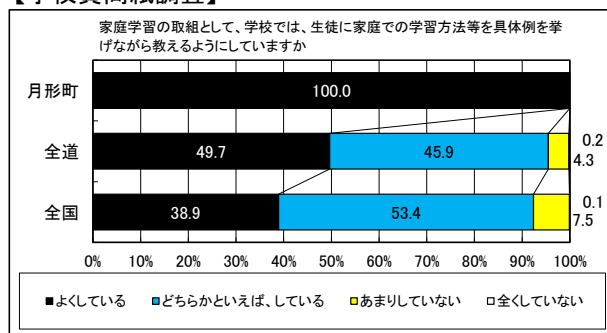
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 英語では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした結果、家で自分で計画を立てて勉強をしていると回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った結果、先生は、あなたのよいところを認めてくれていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした。 ○ 学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をよく行った。	

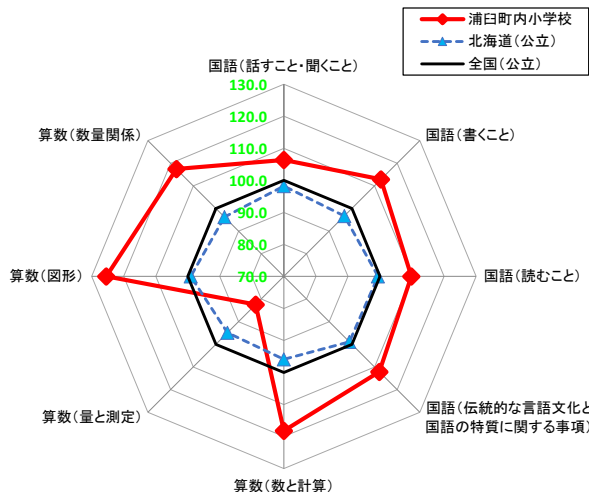
【月形町の学力向上策】

- ◎ 指導方法・体制の工夫等、授業の創意工夫につながる校内研修の促進
- ◎ 習熟の程度に応じた指導や主体的・協働的な学習を取り入れた指導の推進
- ◎ 「外国語活動・外国語科」における指導方法の研修の促進及び中学校教員による小学校への乗り入れ授業の実施
- ◎ 実社会や実生活との関連を図る教育課程の編成・実施及びマネジメントの機能を生かした教育活動の検証と改善
- ◎ 補充的な学習やチーム・ティーチングによる子どもの学習意欲を高め、思考を促す指導の充実
- ◎ 「見通す・振り返る」学習活動の充実による主体的な学びの実現を図る授業改善の推進
- ◎ 町単費で3名の時間講師の配置
- ◎ 英語検定の推奨(小学生は3級、中学生は準2級、高校生は2級取得で海外短期留学制度)
- ◎ 地域ボランティアによる読み聞かせ及び学習支援による地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進

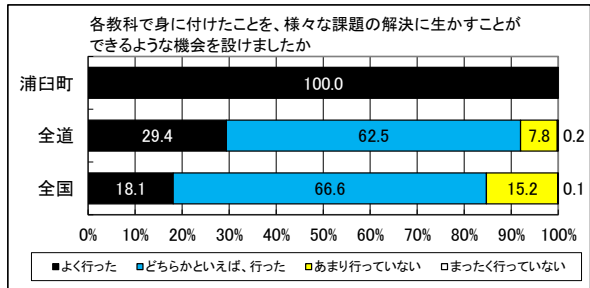
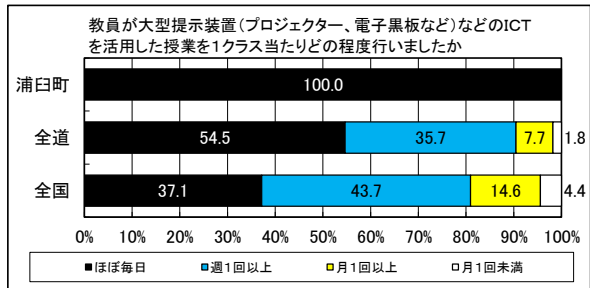
■浦臼町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:13人)

【教科全体の状況】

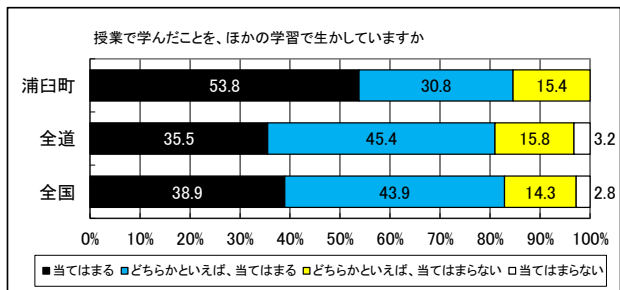
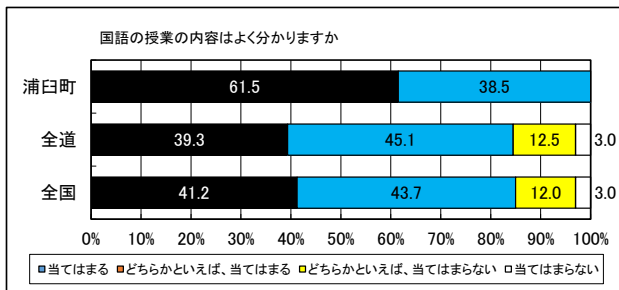
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で、全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「図形」「数量関係」で、全国を上回っている。	○ 教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業をほぼ毎日行った結果、日常の授業改善が図られ、国語の全ての領域、算数の「数と計算」「図形」「数量関係」で、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしてる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業をほぼ毎日行った。 ○ 各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会をよく設けた。	○ 各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会をよく設けた結果、授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【浦臼町の学力向上策】

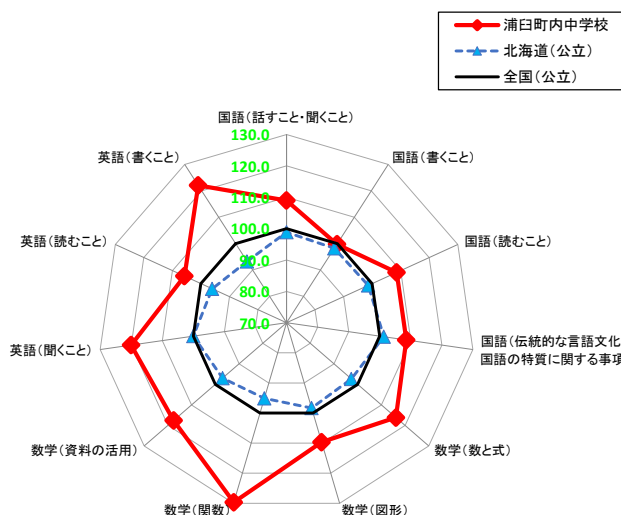
- ◎ 小中連携による統一した授業スタイル、学習規律、指導方法の確立
- ◎ 手引を活用し家庭と連携した家庭学習の取組の充実
- ◎ 小・中学生への英語・漢字・数学算数検定料の助成
- ◎ コミュニティ・スクール導入による家庭と地域、学校が連携した学校づくりの推進
- ◎ 町費負担教員加配のチーム・ティーチングによる少人数指導の充実
- ◎ 小1プロブレムの未然防止に向けた幼小中間の乗り入れ授業の実践や教職員の情報共有
- ◎ ICT機器の効果的な活用による授業改善の推進
- ◎ ALTの支援体制の整備

■浦臼町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:17人)

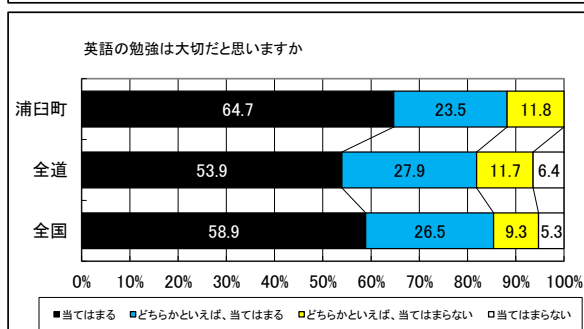
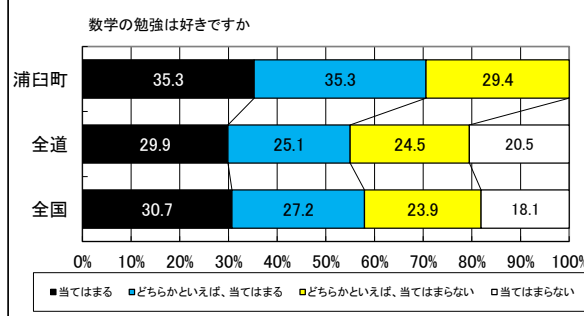
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

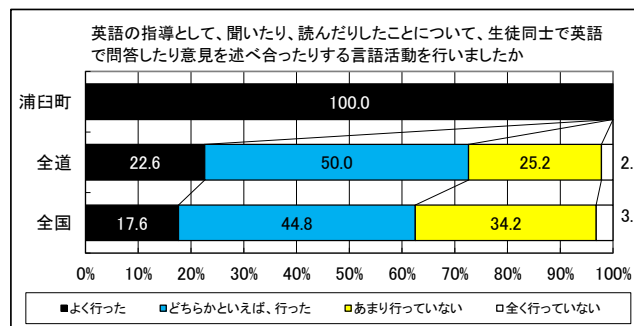
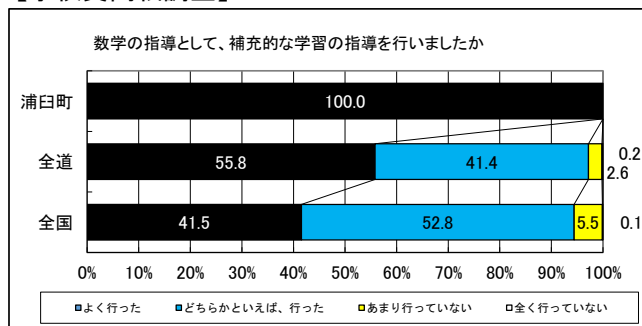
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」において全国を上回っており、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 英語では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、きめ細かな指導が充実し、数学の全ての領域で、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の勉強は好き」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語の指導として、聞いたり、読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行った結果、英語の全領域で、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 英語の指導として、聞いたり、読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動をよく行った。	

【浦臼町の学力向上策】

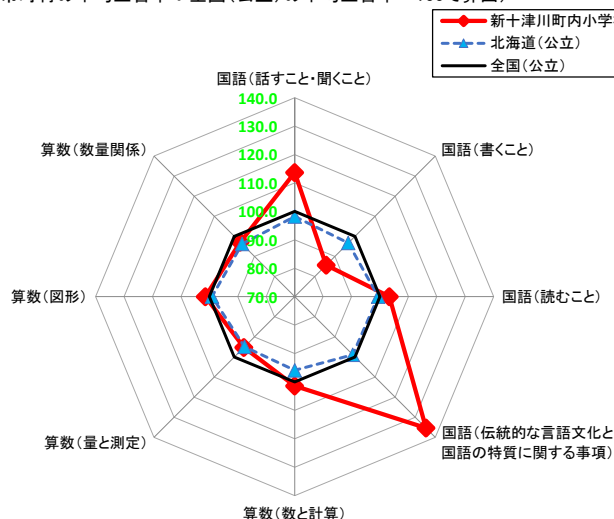
- ◎ コミュニティ・スクール導入による家庭と地域、学校が連携した学校づくりの推進
- ◎ 小・中学生への英語・漢字・数学算数検定料の助成
- ◎ 小中連携による統一した授業スタイル、学習規律、指導方法の確立
- ◎ 中1ギャップの未然防止に向けた幼小中間の乗り入れ授業の実践や教職員の情報共有
- ◎ ICT機器の効果的な活用による授業改善の推進
- ◎ 中学校におけるALTの通年配置

■新十津川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:45人)

【教科全体の状況】

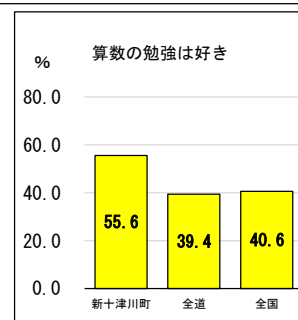
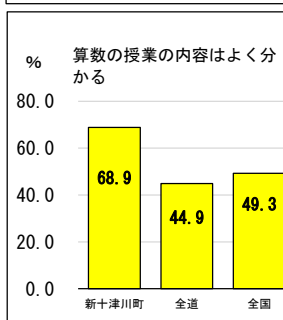
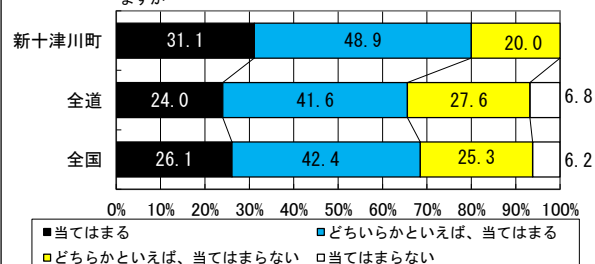
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



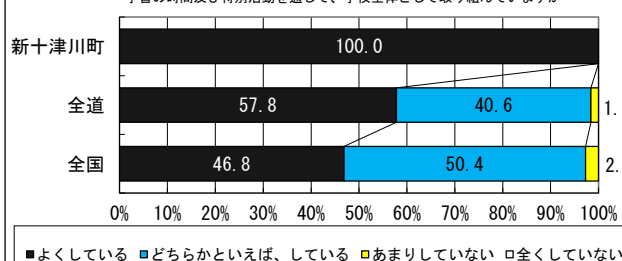
【児童質問紙調査】

国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか

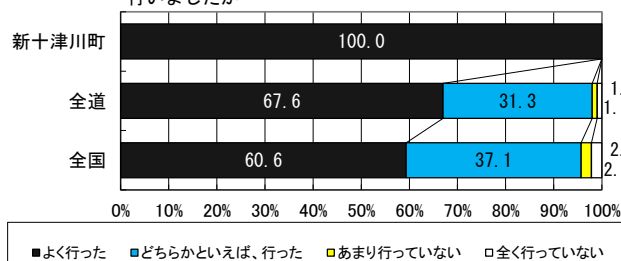


【学校質問紙調査】

言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか



算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」「図形」で全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ結果、国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、計算練習などの反復練習をする授業を行った結果、算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ。 ○ 算数の指導として、計算練習などの反復練習をする授業をよく行った。	

【新十津川町の学力向上策】

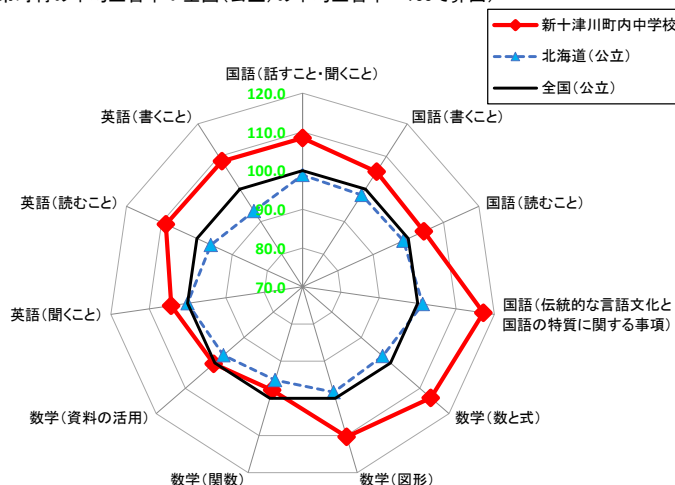
- ◎ 「学習支援サポーター」「学力向上推進講師」を活用した「チーム・ティーチング指導」の実施
- ◎ 長期休業中の学習サポート「やまびこ」の取組の継続
- ◎ ALTを活用した授業改善や中学校英語教師の乗り入れ授業の実施
- ◎ 小・中学校への支援員の配置による、一人一人の実態に応じた特別支援教育の充実
- ◎ 放課後学習サポートの実施

■新十津川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:46人)

【教科全体の状況】

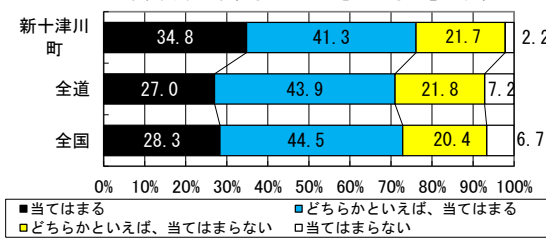
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

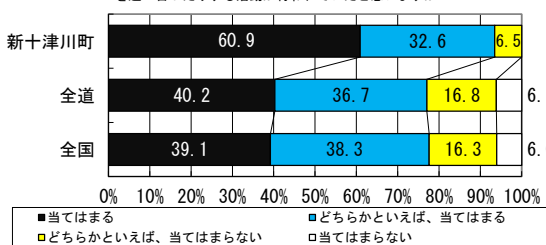


【生徒質問紙調査】

生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

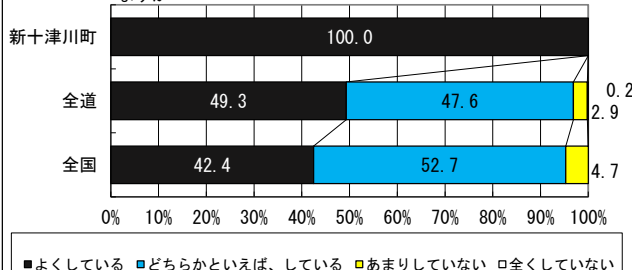


聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか

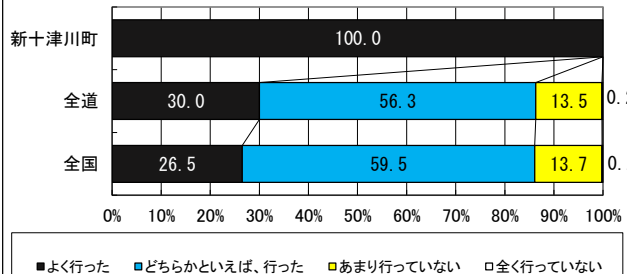


【学校質問紙調査】

言語活動について、国語だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか



英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、どの程度、授業を英語で行いましたか



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ結果、生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、授業を英語で行った結果、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ。 ○ 英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点で、授業を英語でよく行った。	

【新十津川町の学力向上策】

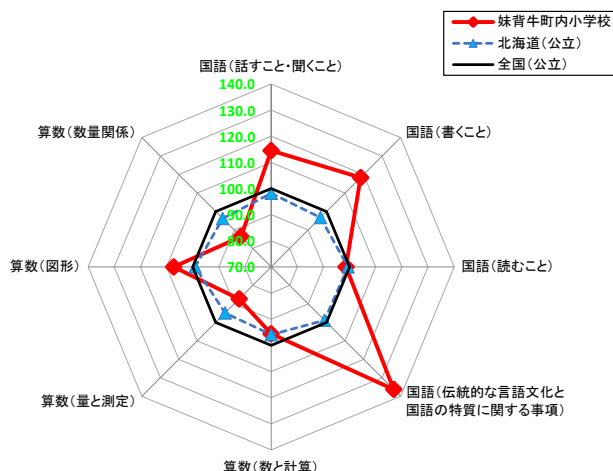
- ◎ 「学習支援サポーター」「学力向上推進講師」を活用した「チーム・ティーチング指導」の実施
- ◎ 長期休業中の学習サポート「やまびこ」の取組の継続
- ◎ ALTを活用した授業改善や中学校英語教師の乗り入れ授業の実施
- ◎ 検定料の全額助成による英検受験の奨励
- ◎ 小・中学校への支援員の配置による、一人一人の実態に応じた特別支援教育の充実
- ◎ 放課後学習サポートの実施

■妹背牛町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:31人)

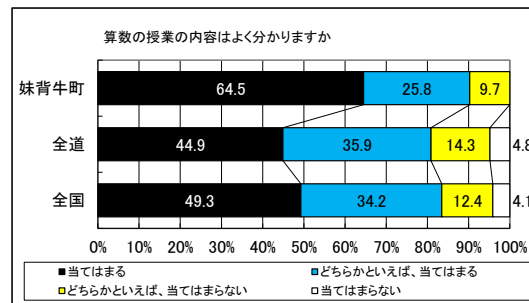
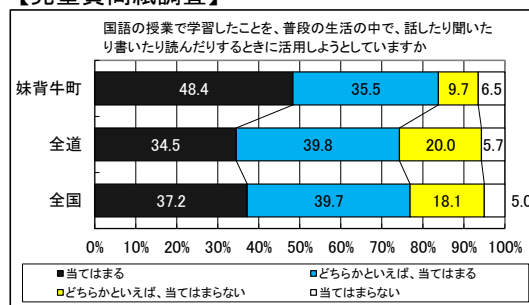
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

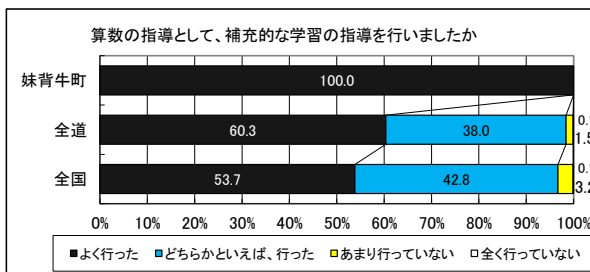
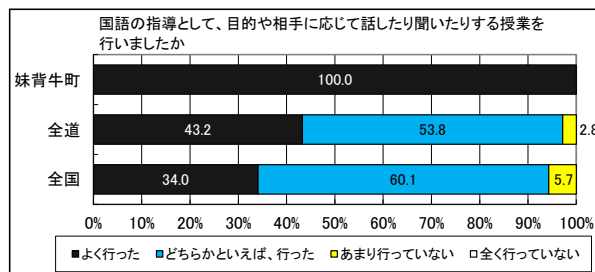
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国を上回っている。 ○ 算数では、「図形」で、全国を上回っている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った結果、国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていると回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、きめ細かな指導が充実し、算数の授業の内容はよく分かったと回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。	

【妹背牛町の学力向上策】

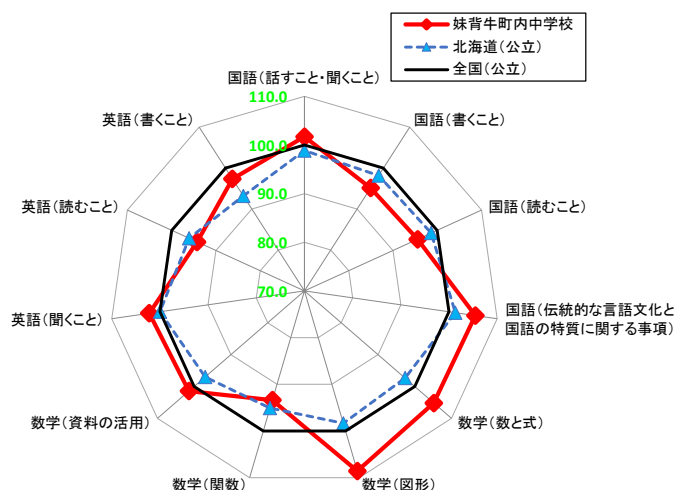
- ◎ 国語科等で育てた表現力を基軸とし、各学級で主体的・対話的で深い学びを展開する中で「汎用的学力」の育成
- ◎ T・Tや習熟度別学習でつまずきの見られる児童への指導の充実による学力の定着と底上げ
- ◎ 全校で統一した計画的な朝学習(国語・算数・朝読書)などで、基礎・基本(漢字・四則計算等)、「書くこと」「読むこと」の指導の充実
- ◎ 「総合的な学習の時間」における「郷土妹背牛」科の推進による基礎的・汎用的能力の向上
- ◎ 中学校との連携による漢字検定及び町費による漢字検定・算数検定の全学年での実施
- ◎ 低学年における外国語活動の取組の推進、中学年外国語活動の年35時間、高学年外国語科年70時間の完全実施
- ◎ 高学年における英語の読み書きを導入した授業の実施
- ◎ 教育上特別な支援を必要とする児童に対して、一人一人の個性に基づいた教育支援計画による充実した学習環境の整備

■妹背牛町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:14人)

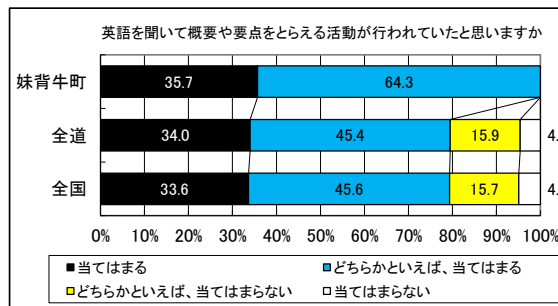
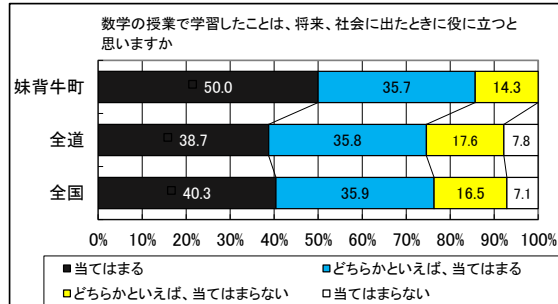
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

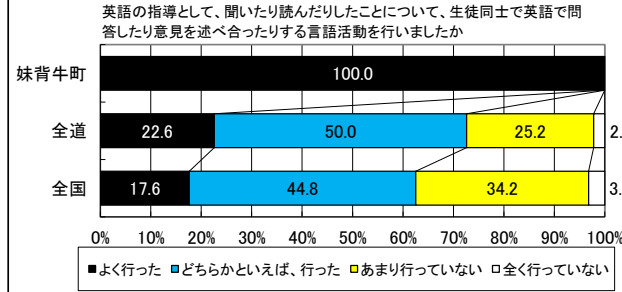
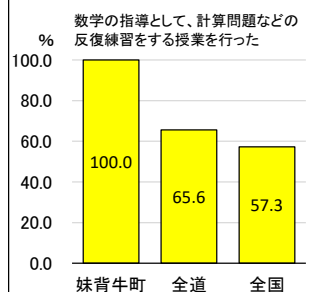
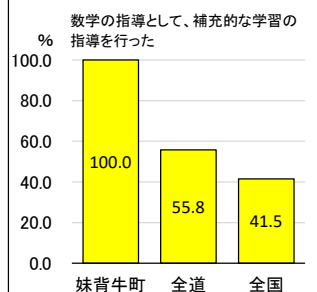
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で、全国を上回っており、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で、全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導や計算問題の反復練習をする授業を行った結果、きめ細かな指導が充実し、数学では、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていた」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行った結果、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動を行ったと回答する生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った。 ○ 英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動をよく行った。	

【妹背牛町の学力向上策】

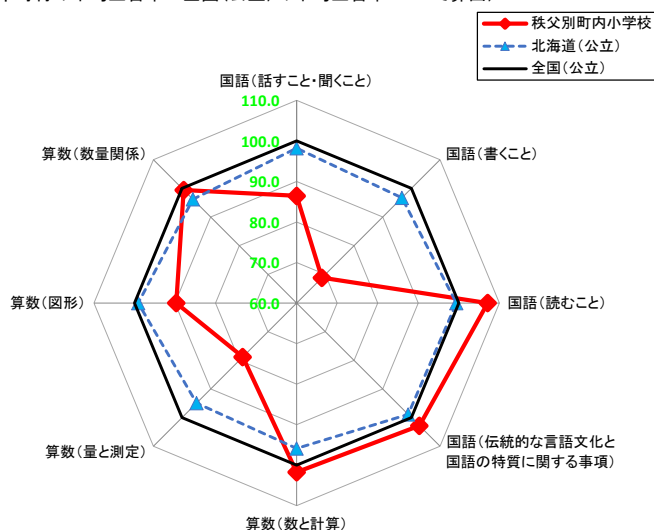
- ◎ 教育上特別な支援を必要とする生徒に対して、一人一人の個性に基づいた教育支援計画による充実した学習環境の整備
- ◎ 生徒が見通しをもって授業に臨むための全教科におけるシラバス等の活用
- ◎ 調査結果等を活用した校内研修における授業改善に向けた授業形態の統一
- ◎ 学習習慣を定着させるための家庭学習の継続的な提出と点検、指導
- ◎ 3年生中心に補充的な学習を中心とした放課後学習の実施
- ◎ 廊下に特設コーナーを設置し、朝学習、宿題でのチャレンジテスト等や「アシストシート」の生徒による主体的な活用
- ◎ 長期休業中を中心とした学習相談日の設定(自習教室として実施)
- ◎ 授業における学習支援員を活用した個別支援の充実

■ 秩父別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:18人)

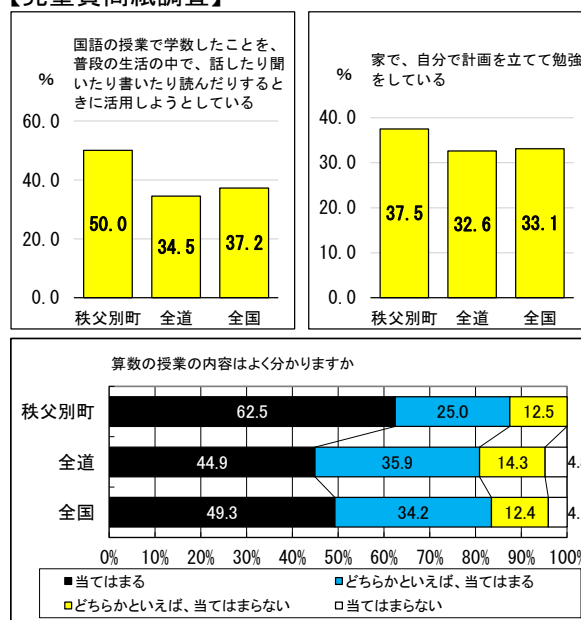
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

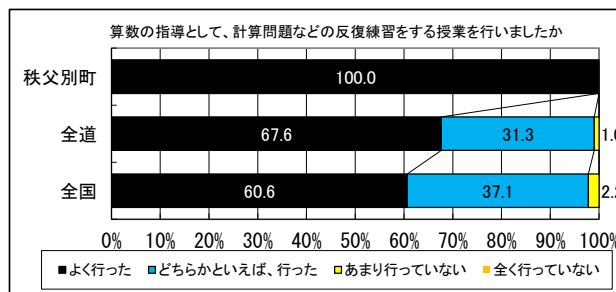
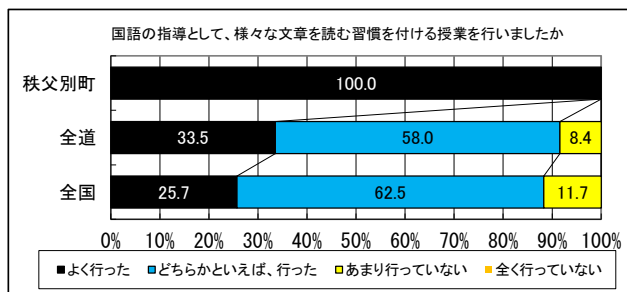
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数では、「数と計算」で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った結果、国語の「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った結果、基礎・基本的な学習内容の定着が図られ、算数の授業の内容はよく分かったと回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業をよく行った。 ○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った。	

【秩父別町の学力向上策】

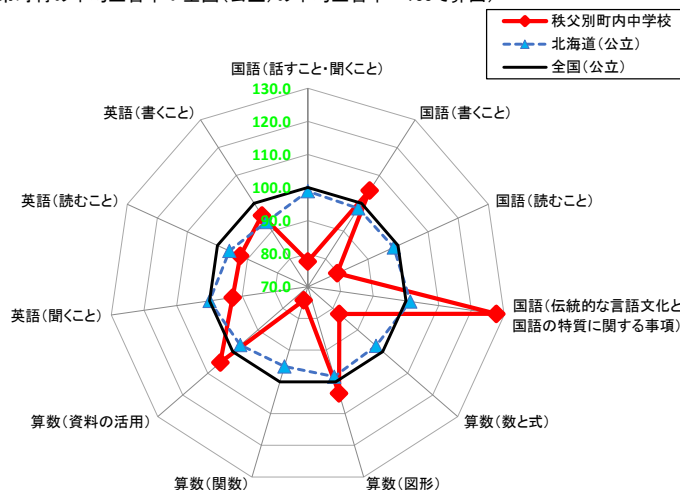
- ◎ 各種研修会等への参加の促進による教職員の研さんと職能の向上
- ◎ 無線LANの整備による小学校のタブレット型パソコンの活用促進
- ◎ 英語指導助手の配置継続によるコミュニケーション能力や国際感覚の育成
- ◎ 一流アスリートによる「夢の教室」の開催によるキャリア教育の充実
- ◎ 長期休業を活用した「望ましい習慣」の定着と郷土愛を育む事業の実施

■ 秩父別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:11人)

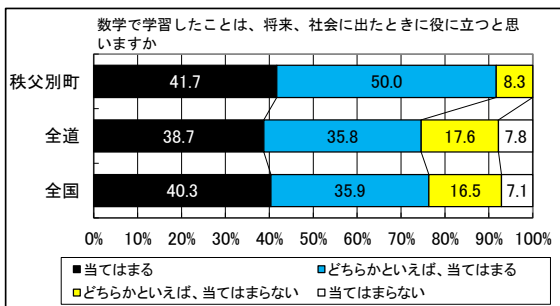
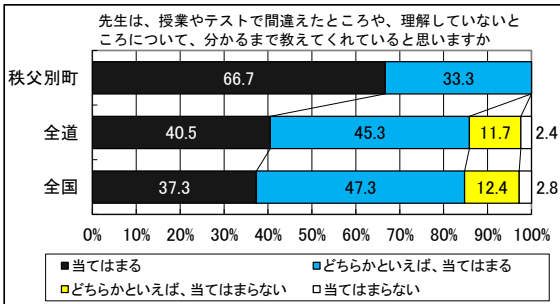
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

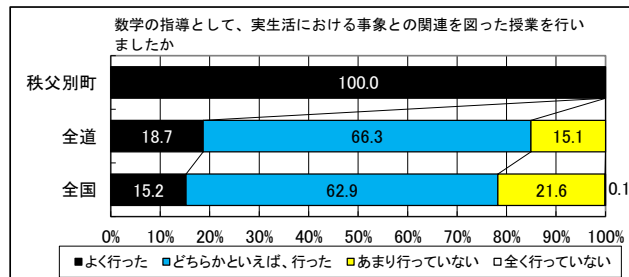
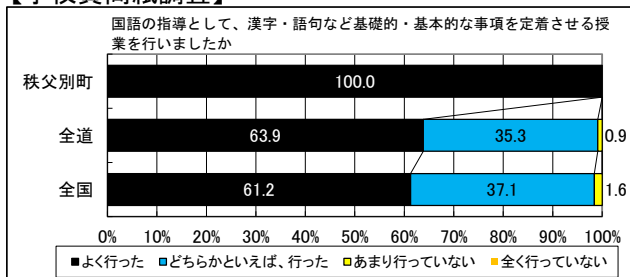
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「書くこと」で全国を上回っており、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学では、「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「書くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った結果、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った結果、数学で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った。 ○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。	

【秩父別町の学力向上策】

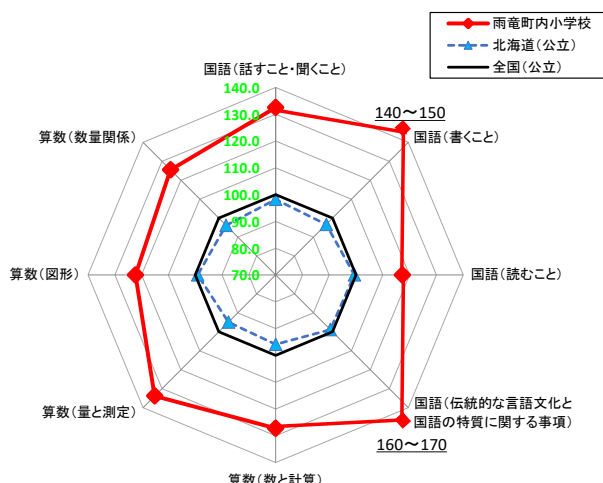
- ◎ 各種研修会等への参加の促進による教職員の研さんと職能の向上
- ◎ 無線LANの整備による中学校のタブレット型パソコンの活用促進
- ◎ 町単独費用負担教員の配置による指導体制の強化
- ◎ 学習支援員の配置継続による個に応じた指導の充実
- ◎ 英語指導助手の配置継続によるコミュニケーション能力や国際感覚の育成
- ◎ 一流アスリートによる「夢の教室」の開催によるキャリア教育の充実
- ◎ 長期休業を活用した「望ましい習慣」の定着と実践

■雨竜町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:8人)

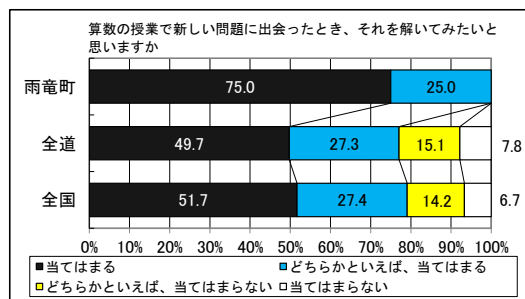
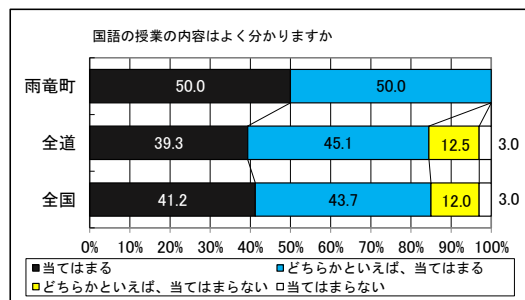
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

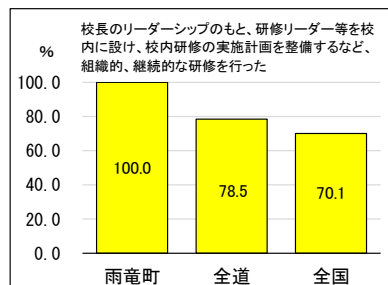
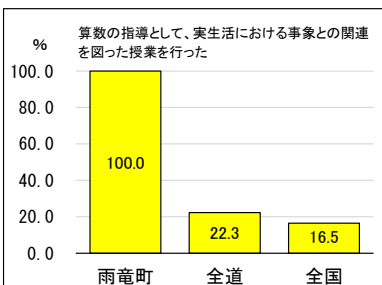
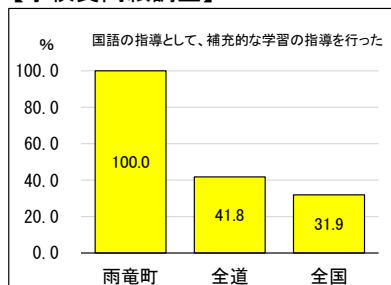
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、国語の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った結果、算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思うと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行った。	○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語及び算数の全ての領域において、全国を上回ったと考えられる。

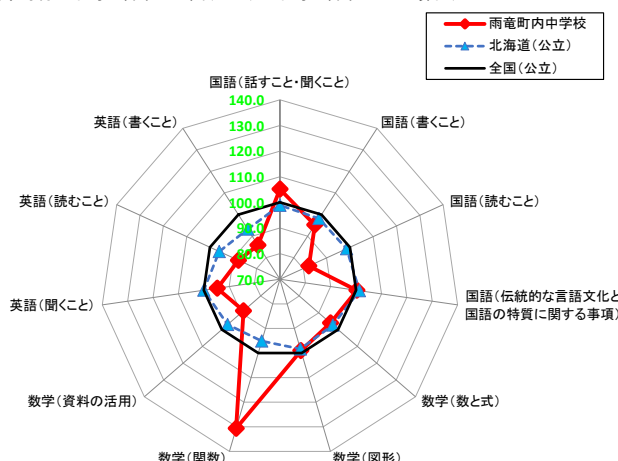
【雨竜町の学力向上策】

- ◎ 施設一体型併設校の環境を生かした小中連携強化と、義務教育9年間を見通した教育課程の策定及び一貫教育の体制づくりの推進
- ◎ 小中合同教員研修を通じた授業改善の取組と小中相互乗り入れ授業の実践
- ◎ データベースカルテを基にした全教職員による児童生徒の情報共有と、個に応じた指導の推進
- ◎ 加配措置教員を活用した指導方法の工夫改善
- ◎ コミュニティ・スクール導入による地域との連携・協働を通じた学校運営の充実
- ◎ ICT機器の活用による指導方法の工夫改善と効果的な学習活動の推進
- ◎ 小中で運動した家庭学習強調週間の設定による家庭学習の時間と質の向上
- ◎ 家庭学習の定着と学力向上のため、民間の学習塾と連携した公設学習塾「雨竜町 ジュニアスクール」の運営
- ◎ 英語指導講師の配置継続による英語力の向上と国際感覚の育成
- ◎ 中学年外国語活動年35時間、高学年外国語科年70時間の完全実施

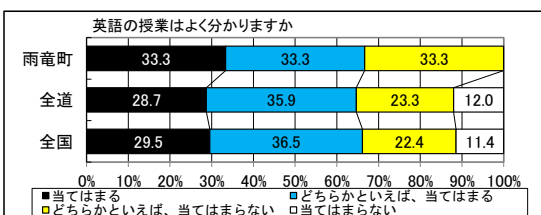
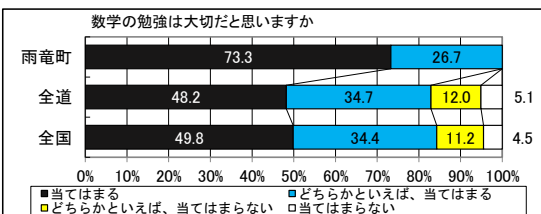
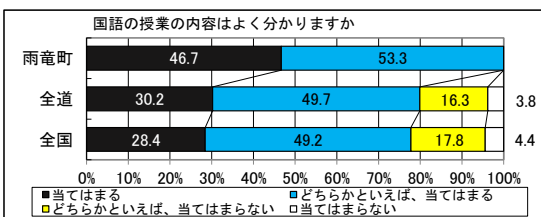
■雨竜町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:14人)

【教科全体の状況】

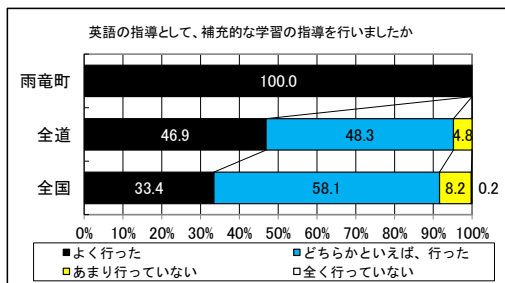
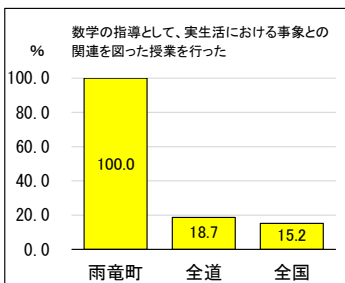
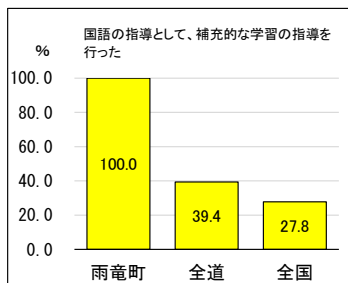
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学では、「関数」で全国を上回っている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。	○ 国語や英語の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回り、英語の授業はよく分かったと回答した生徒の割合が、全国上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の勉強は大切だと思いますか」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かります」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った結果、数学の勉強は大切だと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った。 ○ 英語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。	

【雨竜町の学力向上策】

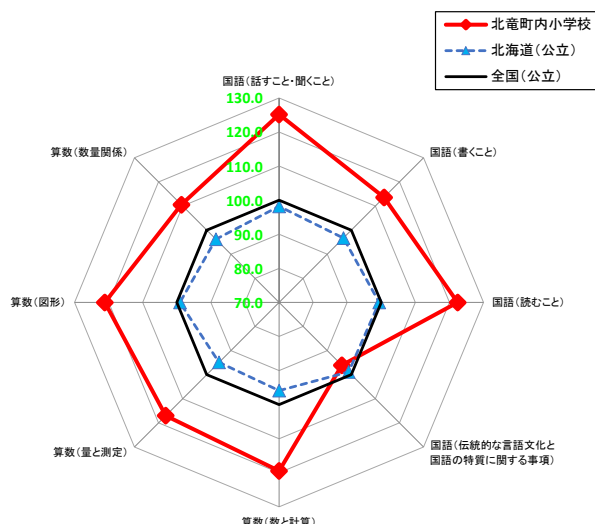
- ◎ 施設一体型併設校の環境を生かした小中連携強化と、義務教育9年間を見通した教育課程の策定及び一貫教育の体制づくりの推進
- ◎ 小中合同教員研修を通じた授業改善の取組と小中相互乗り入れ授業の実践
- ◎ データベースカルテを基にした全教職員による児童生徒の情報共有と、個に応じた指導の推進
- ◎ 加配措置教員を活用した指導方法の工夫改善
- ◎ コミュニティ・スクール導入による地域との連携・協働を通じた学校運営の充実
- ◎ ICT機器の活用による指導方法の工夫改善と効果的な学習活動の推進
- ◎ 小中で連動した家庭学習強調週間の設定による家庭学習の時間と質の向上
- ◎ 家庭学習の定着と学力向上のため、民間の学習塾と連携した公設学習塾「雨竜町 ジュニアスクール」の運営
- ◎ 英語指導講師の配置継続による英語力の向上と国際感覚の育成

■北竜町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:7人)

【教科全体の状況】

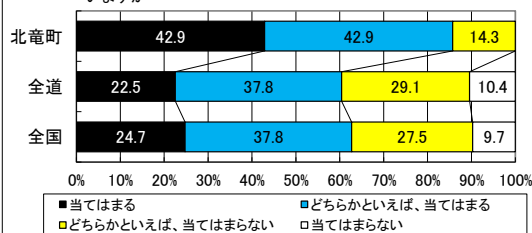
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

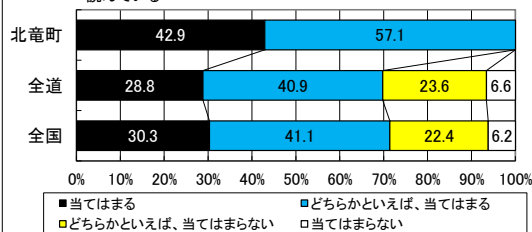


【児童質問紙調査】

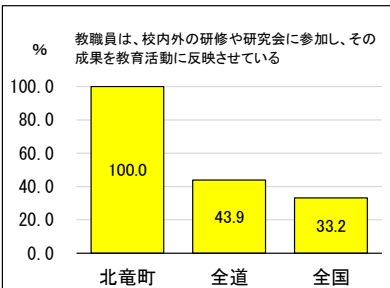
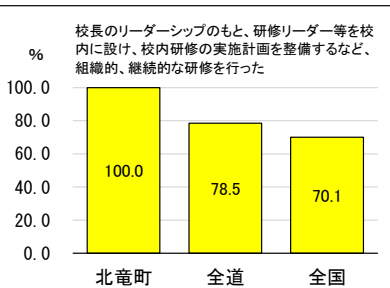
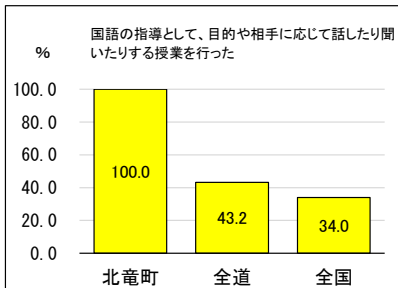
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけた、文章や段落どうしの関係を考えていると答えている



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った結果、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと回答した児童の割合が、全国を上回っている。
児童質問紙	○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけた、文章や段落どうしの関係を考えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った、教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に反映させたりした結果、日常の授業改善が図られ、国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、算数では、全ての領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行った。 ○ 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に反映させた。	

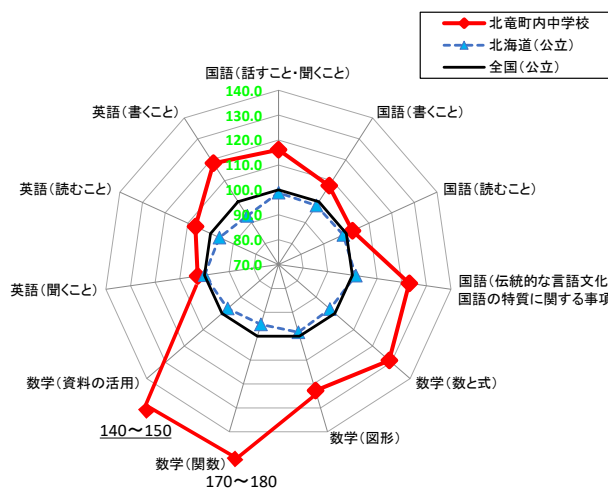
【北竜町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果を活用し、学力や学習状況の評価・分析を基にした授業改善
- ◎ 町費による臨時教員及び学習支援員1名の継続配置
- ◎ 小学校での外国語教育における、外国語指導助手の活用
- ◎ 学習意欲の向上を目的とした、漢字検定と英語検定検定料の助成事業の継続実施
- ◎ 個々に応じた教育支援計画の作成や特別支援教育支援員の配置による、きめ細かな学習指導の実施
- ◎ 町教育振興会での小中連携した研究活動など、教職員の実践指導力を高める取組の充実
- ◎ ICT化に向けての無線LAN環境整備、小学校における教師用iPad購入
- ◎ 退職教員等外部人材活用事業を活用した元英語教諭の配置による外国語教育の充実
- ◎ 英語の公設学習塾の新設による英語力の強化

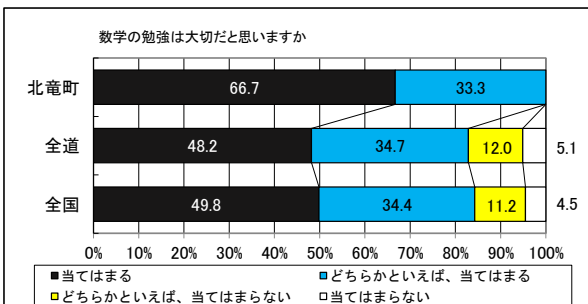
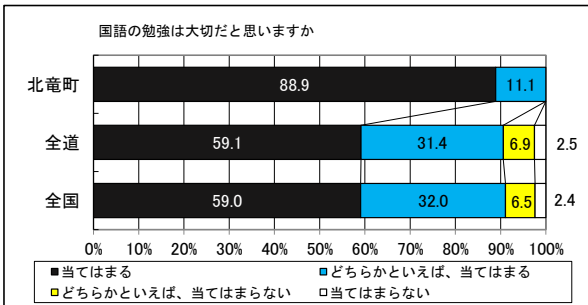
■北竜町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:9人)

【教科全体の状況】

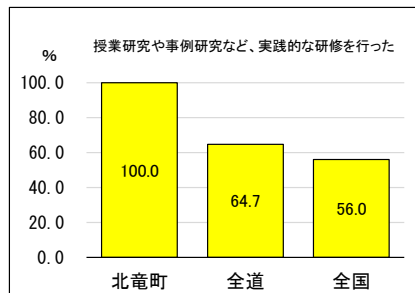
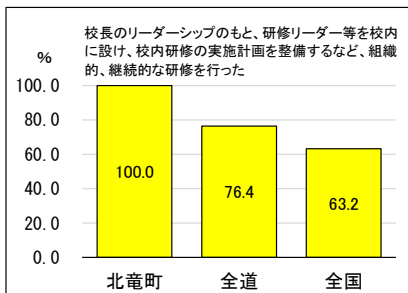
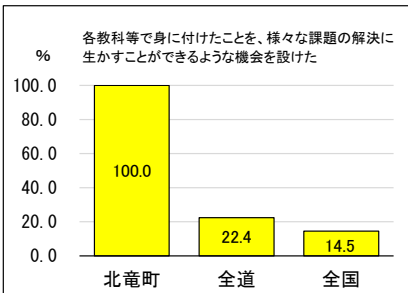
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 数学では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 英語では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた結果、国語や数学の勉強は大切だと思うと回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行ったり、授業研究や事例研究など、実践的な研修を行ったりした結果、日常の授業改善が図られ、国語や数学、英語の全ての領域において全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会をよく設けた。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行った。 ○ 授業研究や事例研究など、実践的な研修をよく行った。	

【北竜町の学力向上策】

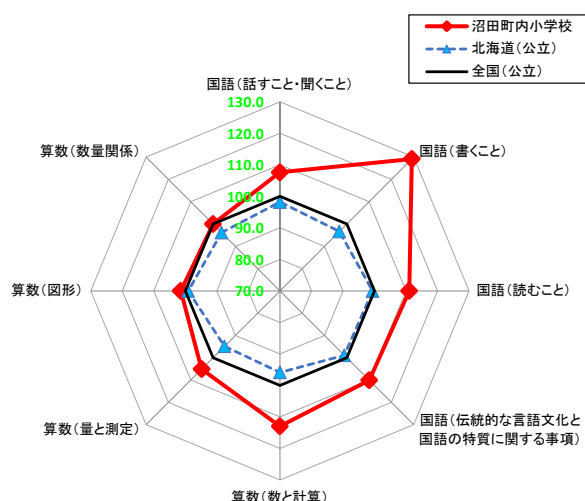
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果を活用し、学力や学習状況の評価・分析を基にした授業改善
- ◎ 学習意欲の向上を目的とした、漢字検定と英語検定検定料の助成事業、中学生短期語学留学助成事業の継続実施
- ◎ 町教育振興会での小中連携した研究活動など、教職員の実践指導力を高める取組の充実
- ◎ ICT化に向けての無線LAN環境整備
- ◎ T・Tによる個に応じたきめ細かな学習指導の充実
- ◎ 家庭や地域と連携した学習習慣や望ましい生活習慣の定着を図るための取組の徹底
- ◎ ひまわり栽培管理や観光案内、職業体験学習を通したキャリア教育の推進
- ◎ 英語の公設学習塾の新設による英語力の強化

■沼田町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:18人)

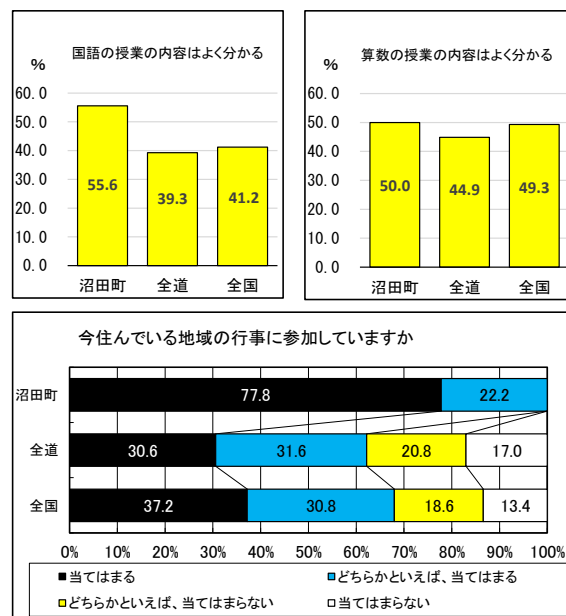
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

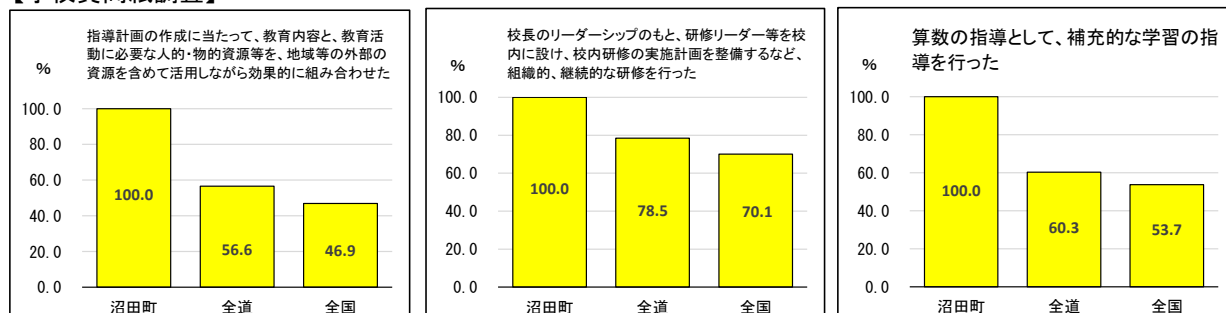
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 算数では、全ての領域で全国を上回っている。	○ 指導計画の作成に当たって、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた結果、地域に対する関心が高まり、今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「国語の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 指導計画の作成に当たって、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせた。 ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行った。 ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。	○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語及び算数の全ての領域で、全国を上回ったと考えられる。 ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、算数の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

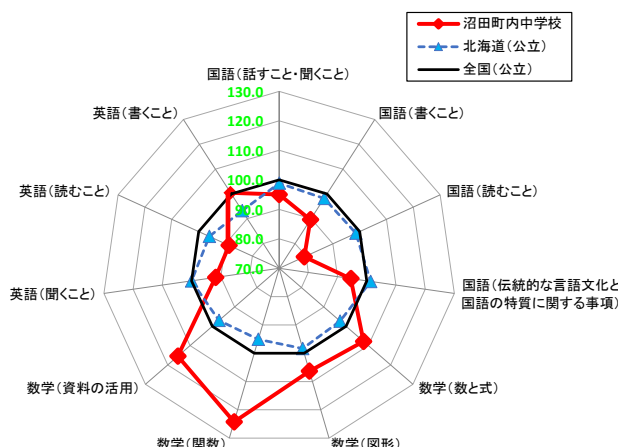
【沼田町の学力向上策】

- ◎ 平成30年沼田学園開設による小中9年間を見通した教育課程の編成と体制及び教育環境の整備等による小中一貫教育の推進
- ◎ 9年間を見通した学習規律「沼田スタイル」を設定し、全教職員による共有
- ◎ 小中乗り入れ授業や合同運動会等の各種交流活動の実施
- ◎ こども園との連携、小中9年間を通した外国語授業の実施
- ◎ 週に1回、朝学習の時間でのハローイングリッシュの実施
- ◎ 小学校全学年による漢字検定、中学校全学年による漢字検定・英語検定の助成
- ◎ 長期休業中及び平日の「学習サポート事業」の実施
- ◎ 望ましい生活習慣・家庭学習の定着に向けた家庭学習計画表の実施
- ◎ 児童による携帯情報端末等の主体的なルールづくり
- ◎ 読書で親子のコミュニケーションを図る「家読」の推進

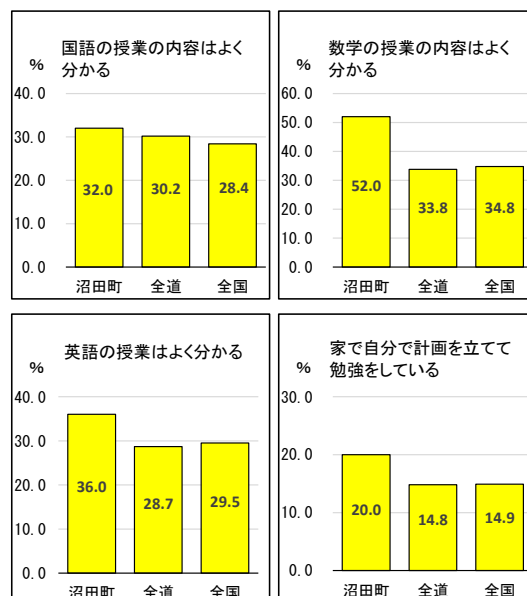
■沼田町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:25人)

【教科全体の状況】

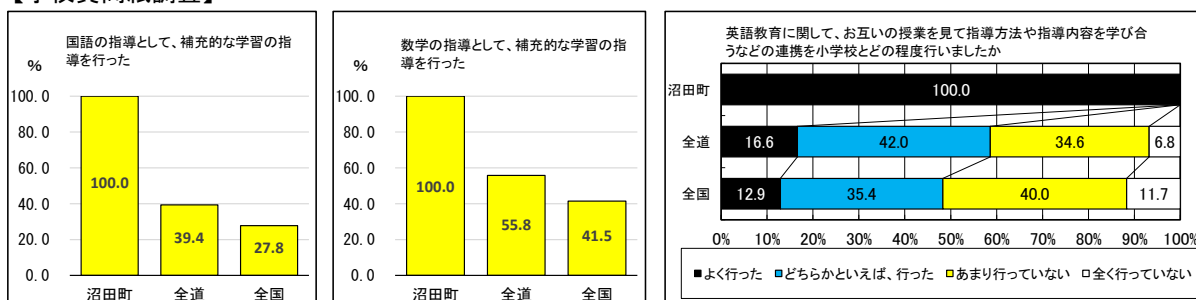
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教 科	○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くになっている。 ○ 数学では、全ての領域で全国を上回っている。 ○ 英語では、「書くこと」で全国を上回っている。	○ 国語、数学の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、国語、数学の授業の内容がよく分かると回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「国語の授業の内容はよくわかる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよくわかる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とよく行った結果、指導方針が一貫し、英語の授業はよくわかると回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 ○ 英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とよく行った。	

【沼田町の学力向上策】

- ◎ 平成30年沼田学園開設による小中9年間を見通した教育課程の編成と体制及び教育環境の整備等による小中一貫教育の推進
- ◎ 9年間を見通した学習規律「沼田スタイル」を設定し、全教職員による共有
- ◎ 小中乗り入れ授業や合同運動会等の各種交流活動の実施
- ◎ こども園との連携、小中9年間を通した外国語授業・中学生のカナダ訪問の実施
- ◎ 小学校全学年による漢字検定、中学校全学年による漢字検定・英語検定の助成
- ◎ 長期休業中及び平日の「学習サポート事業」の実施
- ◎ 望ましい生活習慣・家庭学習の定着に向けた家庭学習計画表の実施
- ◎ 生徒による携帯情報端末等の主体的なルールづくり
- ◎ 読書への関心を高めるための読書環境の整備